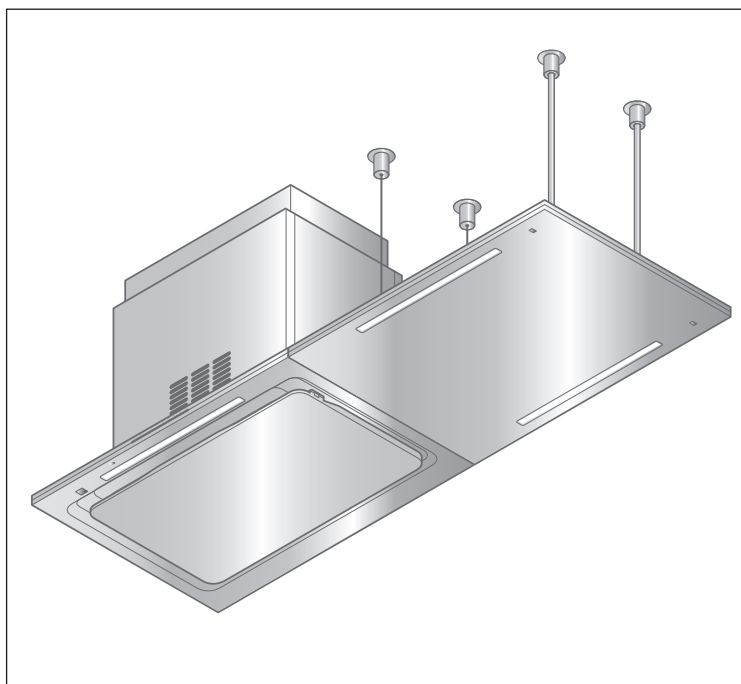


レンジフード 取付説明書



も く じ

安全上のご注意.....	2 ~ 3
取り付け上のお願い.....	4
取り付け前の調査と準備.....	5 ~ 9
各部のなまえ.....	10
製品寸法図.....	11
付属品.....	12 ~ 13
取り付けかた.....	14 ~ 38
1. 付属品の確認.....	14
2. 取付準備.....	15 ~ 18
3. フード・本体の準備.....	19 ~ 21
4. フード・本体の取り付け.....	22 ~ 26
5. ワイドспанユニットの準備.....	27
6. ワイドспанユニットの取り付け.....	28 ~ 35
7. 電気配線.....	36
8. 試運転.....	37
9. レンジフードの横ふた・前ふた・後ふたの取り付け.....	38
10. お客様への説明.....	38

本書では、左側にレンジフード、右側にワイドспанユニットを取り付ける場合を示します。
それらの位置が逆となる場合は、取付方法は左右対称となります。

販売店・工事店様へ：
この取付説明書は取り付け後、
施主様へ必ずお渡しください。

取り付け前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、
正しく取り付けをおこなってください。

1B03 F481



* 1 B 0 3 F 4 8 1 *

安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** : 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

 **注意** : 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



○ 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告



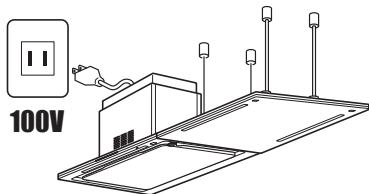
分解・修理・
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



使用禁止

- 交流 100 V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります



埋込禁止

- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
漏電した場合、発火するおそれがあります



アースを
取り付ける

- アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください



取付注意

- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
火災などの原因になります
詳しくは、所轄の消防署にお問い合わせください



取付注意

- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
火災などの原因になります

安全上のご注意

警告



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

誤った配線工事は感電や火災の原因になります



取付注意

- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること

火災・故障の原因になります



取付注意

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること

漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります



取付注意

- レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラステ網など）と接触しないよう取り付けること

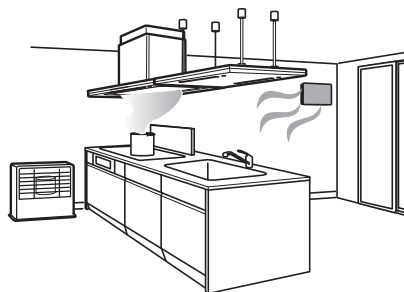
漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- 自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること

排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります



注意



使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと

（浴室用換気扇をお使いください。）

感電および故障の原因になります



取付禁止

- 周囲温度が 40℃以上になるところには取り付けないこと

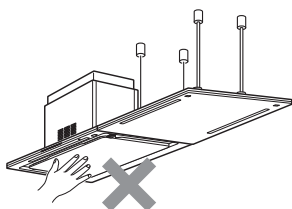
火災・故障の原因になります



接触禁止

- 運転中は指や物を絶対に入れないこと

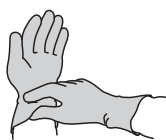
けがをするおそれがあります



手袋をする

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること

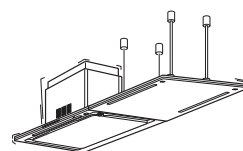
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



取付注意

- レンジフードおよびワイドスパンユニットの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実にこなうこと

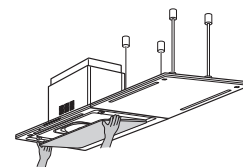
落下によりけがをするおそれがあります



取付注意

- 部品の取り付けは確実にこなうこと

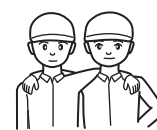
落下によりけがをするおそれがあります



取扱注意

- 作業は 2 人以上でこなうこと

レンジフードは最大 44kg、ワイドスパンユニットは最大 15kg の重さがあります



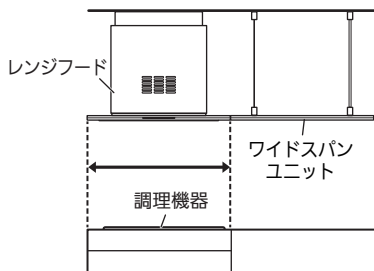
取り付け上のお願ひ

● 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。

- 大工工事
【設置のための下地工事等】
- 配線工事
【コンセントの設置、コンセント・コネクタ利用以外の配線接続等】
- 管工事
【ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等】

流通業者（販売店）を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。

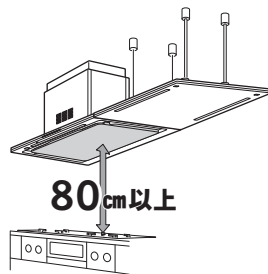
- ダクトの不燃処理について
 - ・ダクトを 50mm 以上の不燃材料、または 20mm 以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。
 - ・施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」・「検査要領書」に従ってください。
- 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。また、調理機器はレンジフードの前後左右からはみ出して設置しないでください。（ワイドスパンユニットの下には設置しないでください。）捕集性能が低下します。



- 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は 400m³/h 時 50Pa 以下のものをご使用ください。防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。

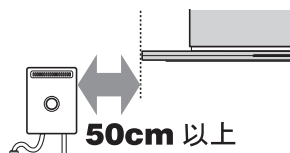
- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気性能をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。

- レンジフードは調理機器の真上に取り付けてください。なお、レンジフード取付高さは、レンジフードの下端が調理機器の真上 80cm 以上になるようにしてください。



- 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。

- レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けしないでください。また、横方向 50cm 以上離して取り付けしてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。



- 部屋の中央で調理される場合は、油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。

- 建物が密閉されている場合は必ず、約 400cm² 程度の空気取入口を設けてください。

- 寒い地域ではダクトが結露し、レンジフード内に結露水が流れる場合がありますので、不燃処理された断熱材を巻くなどの対応をしてください。

- ダクトは必ず屋外側に向けて下り勾配を設けてください（目安：勾配 1/100 ~ 1/50 程度）。雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。

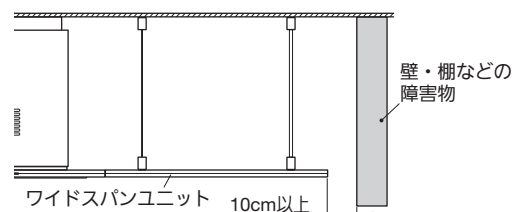
- レンジフードの配線工事の際は、壁スイッチを使用しないでください。レンジフードへの通電が遮断されますと、お手入れ時期の表示（お手入れランプ）を正しくお知らせできなくなります。



- 天井（石膏ボード）は 12.5mm 以下の厚みの物を使用してください。

- パイプおよびワイヤーを取り付ける野縁は、厚み 45 ~ 50mm、かつ幅 60mm 以上としてください。

- 取り付けのために、壁・棚などの障害物からワイドスパンユニットまでの距離が 10cm 以上になるようにしてください。



- 汚れを除去する際は、シンナー等の有機溶剤を使用しないでください。塗装面が変色したり、はがれたりすることがあります。

- 風量おまかせ運転（風量自動切替）機能を正しくお使いいただくために、別紙に記載の方法で必ず環境設定をおこなってください。

- 同時給排モデルのレンジフードをお使いの場合でも、レンジフードによる排気量と給気量が同じとは限らず、建物の気密性によっては給気が必要となる場合があります。給気量が不足すると、不完全燃焼、吸い込み不良、異音、扉の開閉に支障が出るなどの不具合が発生する場合があります。その場合は別途空気取入口を設けてください。

取り付け前の調査と準備

警告



分解・修理・
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



埋込禁止

- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すが、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
火災などの原因になります
詳しくは、所轄の消防署にお問い合わせください



取付注意

- レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること
火災・故障の原因になります



取付注意

- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
火災などの原因になります

注意



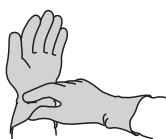
取付禁止

- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと
火災・故障の原因になります



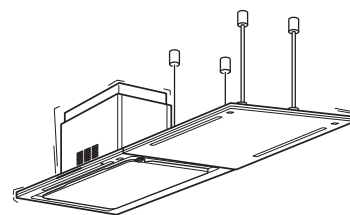
手袋をする

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



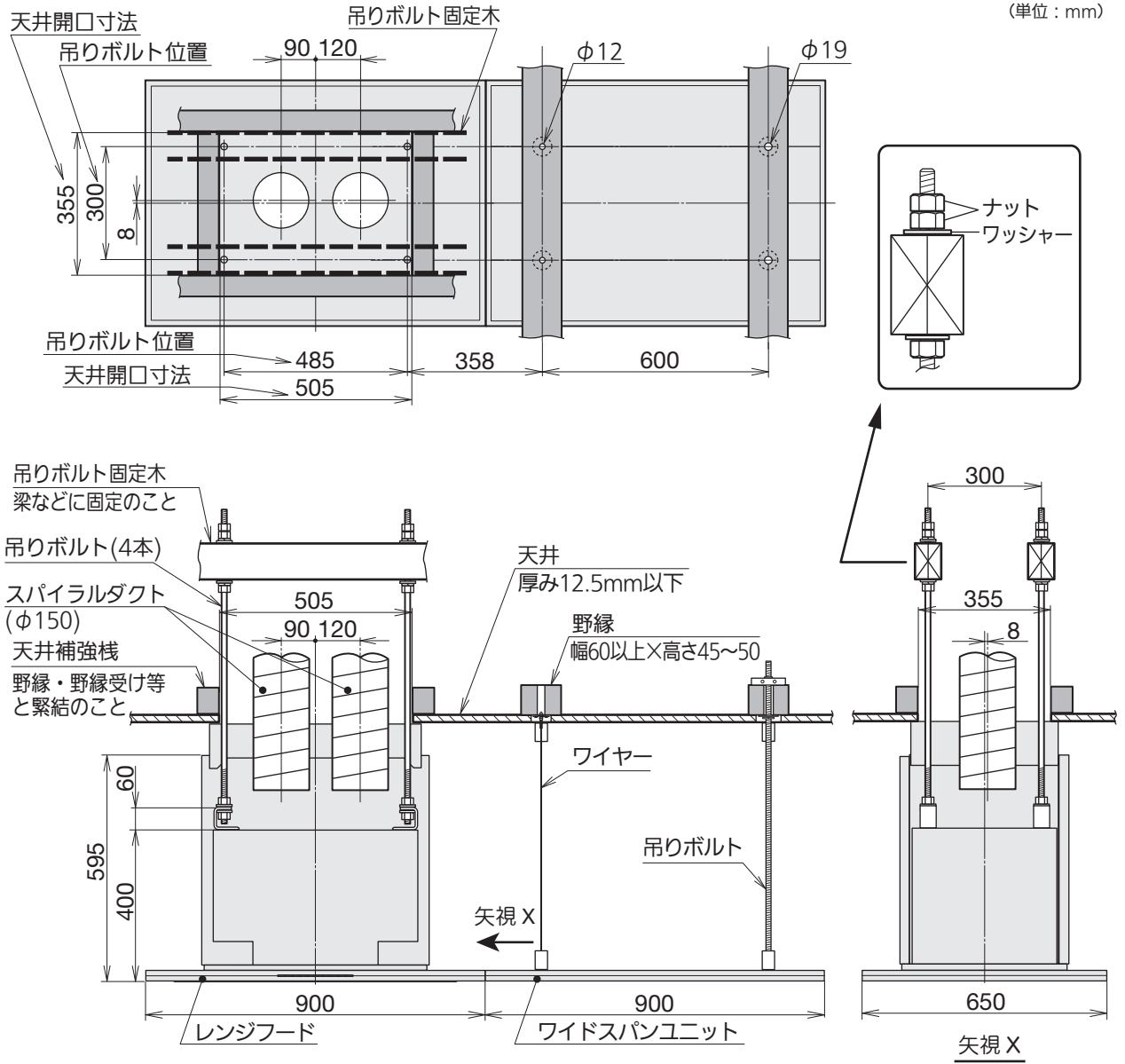
取付注意

- レンジフードおよびワイドスパンユニットの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実にこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります



取り付け前の調査と準備

■取付要領図



取り付け前の調査と準備

1 取付箇所の強度確認

製品を支える強さが必要です。

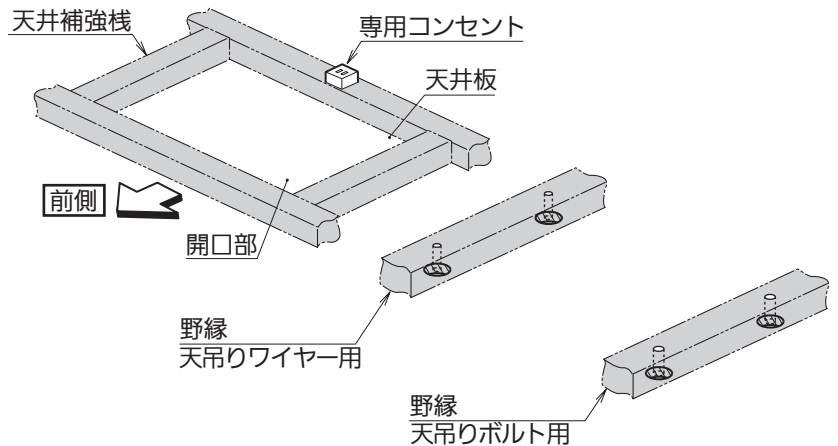
製品質量	レンジフード	最大 44kg
	ワイドスパンユニット	

2 天井補強枠と野縁の設置

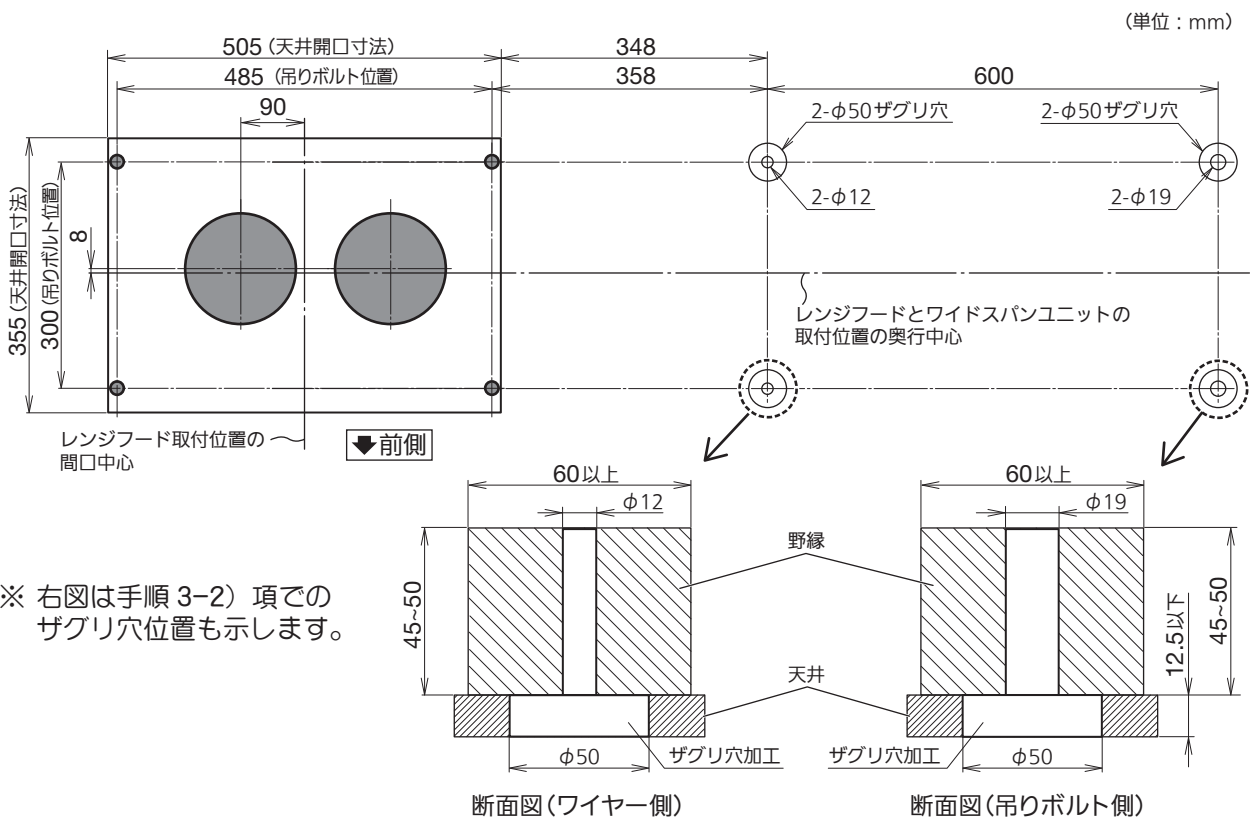
1) 右図および下図を参照し、天井面のレンジフードを取り付ける位置に天井補強枠を、ワイドスパンユニットを取り付ける位置に野縁を設けてください。

※ 天井補強枠は、野縁・野縁受け等に固定してください。

※ 野縁のサイズは幅 60mm 以上、厚さ 45～50mm としてください。



2) 野縁のボルトとワイヤーの吊り位置にφ12とφ19の穴(各2ヶ所)をあけてください。

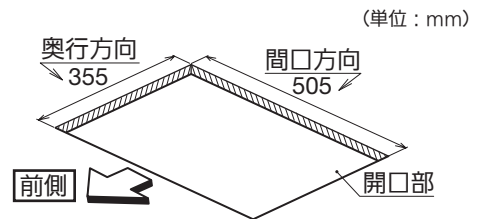


※ 右図は手順 3-2) 項でのザグリ穴位置も示します。

取り付け前の調査と準備

3 天井面への穴あけ

- 1) 天井面のレンジフードを取り付ける位置に間口 505mm × 奥行 355mm の開口をあけてください。



- 2) 天井面のワイドスパンユニットを固定する吊りボルト・ワイヤー位置 (各 2ヶ所、前ページ手順 2 の野縁穴開け同位置) それぞれに、手順 2-2) 図を参照してザグリ穴加工をおこなってください。

お願い

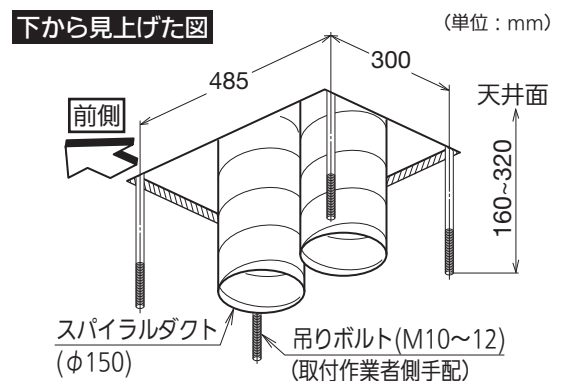
ザグリ穴加工の際に、野縁等を破損しないようご注意ください。

4 吊りボルトの取り付け

レンジフードの吊りボルト位置に合わせて、吊りボルトを垂らしてください。

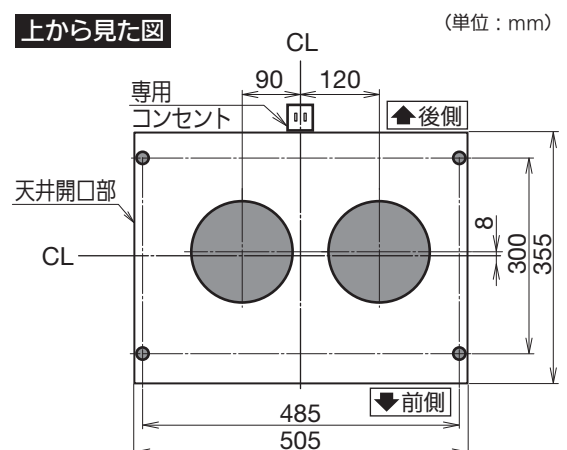
※ 吊りボルトは、M10 を用いてください。

※ 吊りボルトは製品を支える十分な強度を確保してください。必要となる強度は、建物の条件、耐震クラスなどにより異なります。



5 排気ダクトの取り出し

φ 150 のスパイラルダクトを、右図の位置に取り出してください。



■ ■ 取り付け前の調査と準備

6 標準取付寸法

本製品の標準取付寸法は、調理機器上面からレンジフードの下端まで 80cm です。

※ 火災予防条例では、グリスフィルターの下端が調理機器の真上 80cm 以上必要となっています。

7 電源コンセント・ブレーカー

電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。(交流・単相 100V)

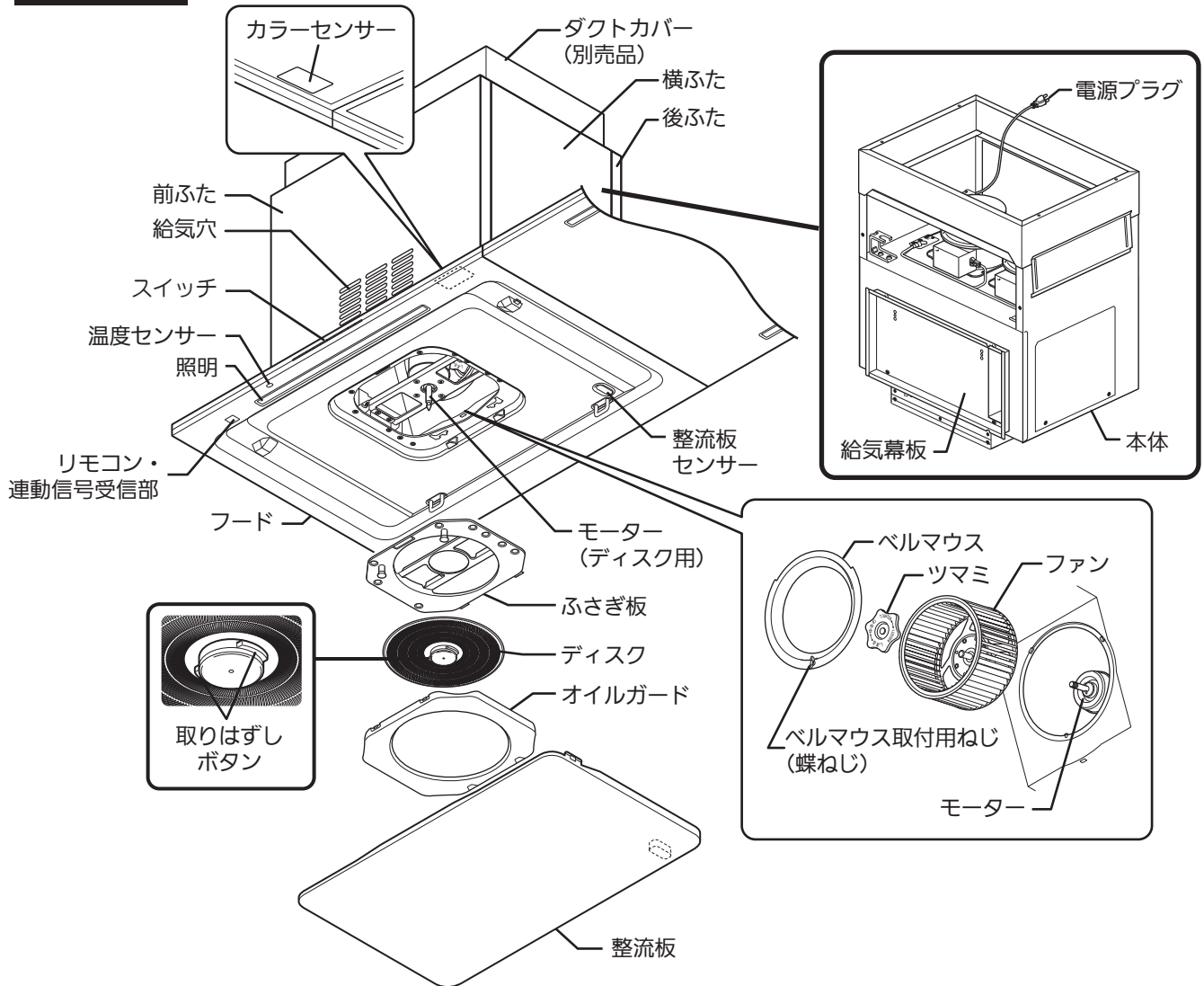
コンセントは、JIS C 8303 2 極接地極付差込接続器 15A 125V をご使用ください。

お願い

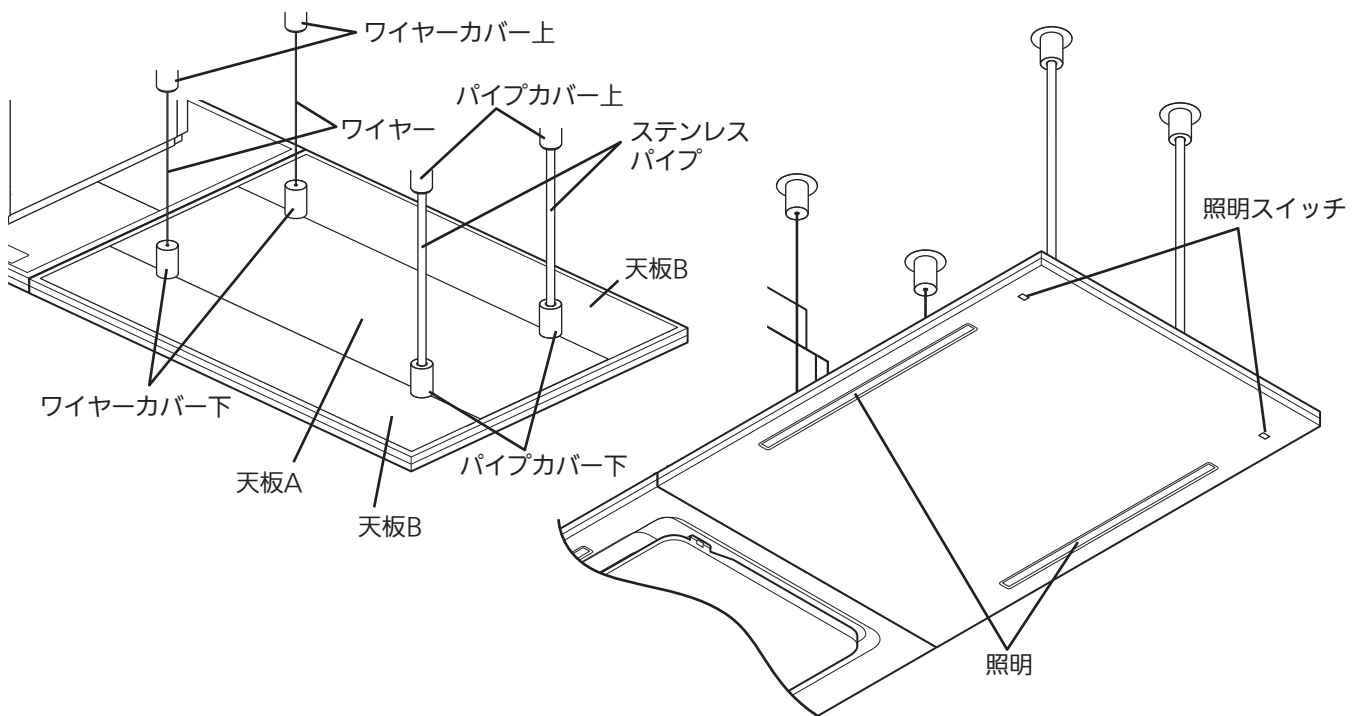
必ずアース工事 (D種接地工事) をしてください。レンジフードが誤作動することがあります。

各部のなまえ

レンジフード

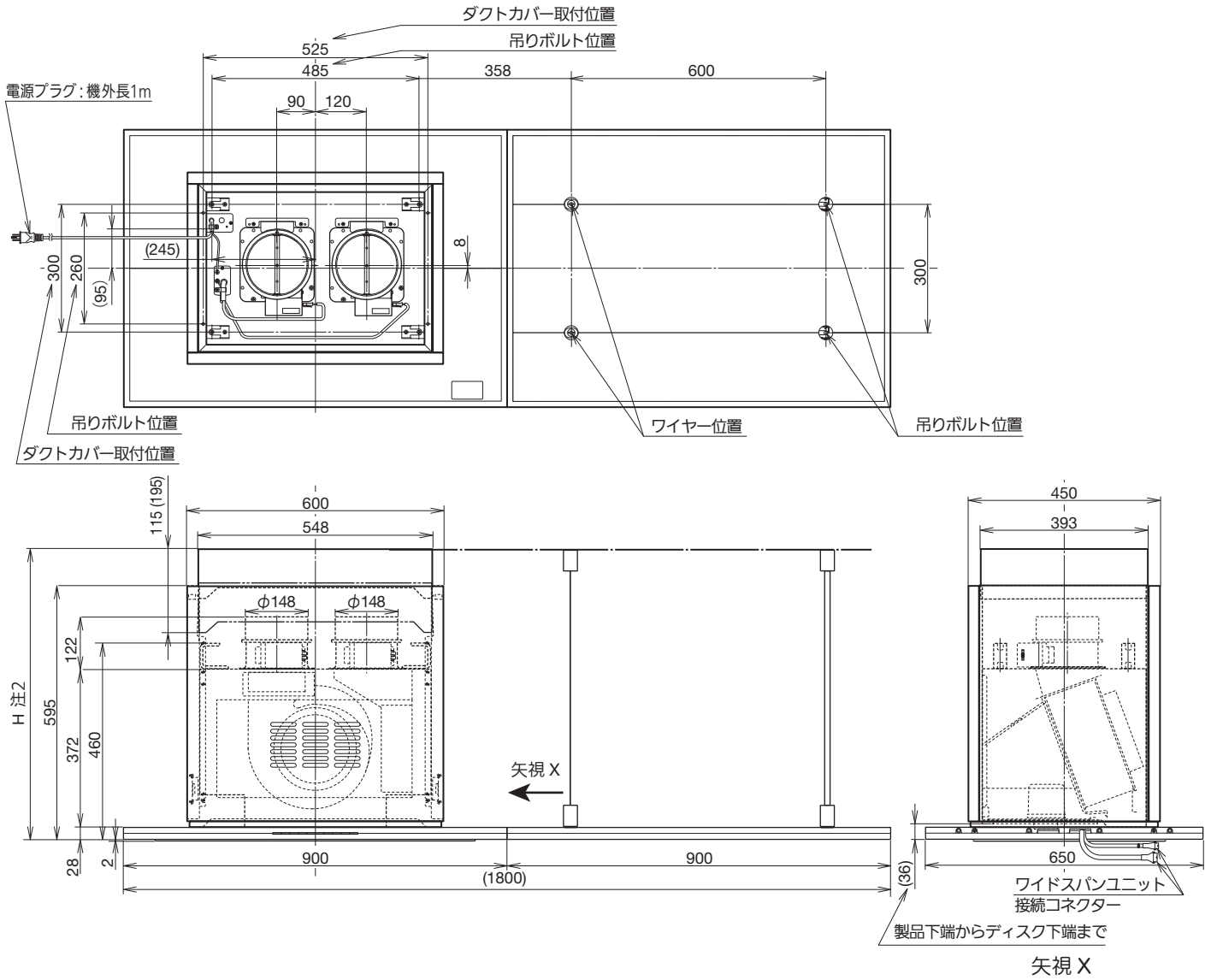


ワイドスパンユニット

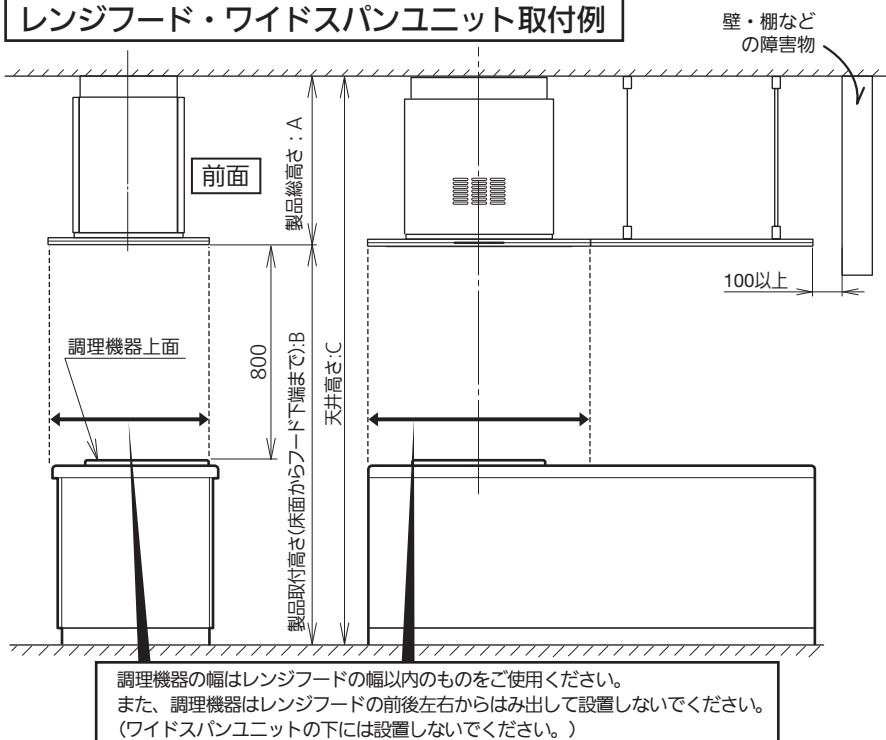


製品寸法図

(単位：mm)



レンジフード・ワイドスパンユニット取付例



ご注意

調理機器設置高さ天井高さの関係により、このレンジフードが設置できない場合があります。下表の製品取付高さ天井高さから適切なダクトカバーを選択してください。

*注1 排気方向は上方のみ可能です。

*注2 ダクトカバーは型名によって寸法が異なります(下図参照)。

※下表の設置寸法は一例です。記載以外の設置寸法の場合は、製品寸法図を参考にしてダクトカバーを選定・調整してください。
ダクトカバー型名の「*」には色記号が入ります。

ダクトカバー品番	製品総高さ：A	取付寸法(例)	
		製品取付高さ：B	天井高さ：C
CDCR-115*	600~680	1600	2200~2280
		1650	2250~2330
		1700	2300~2380
		1750	2350~2430
CDCR-195*	680~760	1600	2280~2360
		1650	2330~2410
		1700	2380~2460
		1750	2430~2510
		1800	2480~2560

付属品

■ レンジフード用

	トラスねじ (M4 × 10) (2 本)	フードの取り付けに使用します。
	トラスねじ (M5 × 12) (6 本)	フードの取り付けに使用します。
	フード固定金具 (1 個)	フードと本体の固定に使用します。
	ソフトテープ (2 本)	給気口および排気口とダクトとのすきまをふさぐのに使用します。
	整流板 (1 個)	本体に取り付けて使用します。

■ ワイドスパンユニット用

	ワイヤー (2 本)	天井からのフードの吊り下げに使用します。 ※ 片側端部がボール状にかしめられています。
	ワイヤー取付金具 (2 個)	天井側のワイヤーの固定に使用します。
	カバープレート (ワイヤー用) (2 枚)	天井のワイヤー固定部の穴をふさぐために使用します。 ※ おもて面に目方向を示す刻印があります。
	ワイヤーカバー上 (2 個)	天井側のワイヤー末端を隠すために使用します。
	ワイヤーカバー下 (2 個)	フード側のワイヤー末端を隠すために使用します。
	ステンレスパイプ (2 本)	吊りボルトを隠すために使用します。 ※ パイプカッターなどの工具で規定の長さにカットする必要があります。


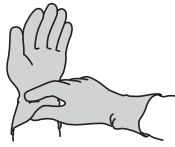

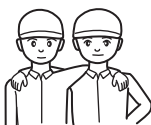
付属品

	高ナット (M10 × 25) (2 個)	天井側の吊りボルトの固定に使用します。
	カバープレート (パイプ用) (2 個)	天井の吊りボルト固定部の穴をふさぐために使用します。 ※ おもて面に目方向を示す刻印があります。
	パイプカバー上 (2 個)	天井側のステンレスパイプ末端を隠すために使用します。
	パイプカバー下 (2 個)	フード側のステンレスパイプ末端を隠すために使用します。
	フランジ付きナット (M10) (6 個)	吊りボルトの固定に使用します。
	木ねじ (φ 4.1 × 32) (10 本)	ワイヤー取付金具の固定に使用します。
	六角穴付きボルト (M5 × 25) (4 本)	レンジフードとの固定に使用します。
	ストッパー (ゴム) (2 枚)	ワイヤーカバー下とパイプカバー上の任意の高さでの仮止めに使用します。
	スパナ (1 個)	フード側の吊りボルト固定用のフランジ付きナット (M10) の固定に使用します。 ※アフターサービスで使用するため、大切に保管してください。
	特寸ワッシャー (外径φ 22) (2 個)	吊りボルトの固定に使用します。
	スプリングワッシャー (M10) (2 個)	
	ナットアンカー (M10) (2 個)	

取り付けかた

1. 付属品の確認

⚠ 注意

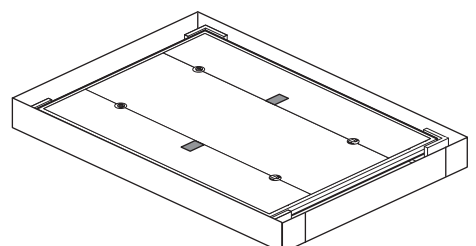
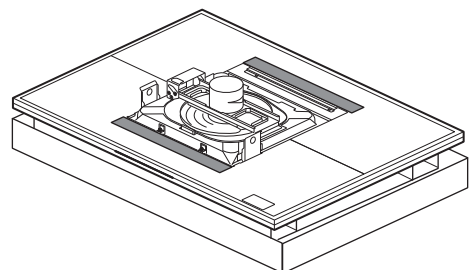
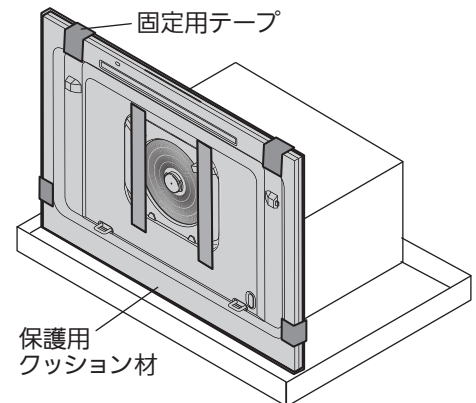
 手袋をする	<ul style="list-style-type: none">● 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること 鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります	
 取扱注意	<ul style="list-style-type: none">● 作業は2人以上でおこなうこと レンジフードは最大 44kg、ワイドスパンユニットは最大 15kg の重さがあります	

付属品を確認します。

レンジフード側、ワイドスパン側それぞれの梱包箱から付属品を取り出し、12～13ページの付属品一覧により不足がないか確認してください。

お願い

- ・ 保護用のクッション材と固定用テープはキズ、破損防止のため、それぞれ「3. フード・本体の準備」(19ページ)、「5. ワイドスパンユニットの準備」(27ページ)まではずさないでください。
- ・ 床で作業する場合、本体および床にキズを付けないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。
- ・ 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。



取り付けかた

2. 取付準備

警告



取付注意

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取り付けること

漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります



取付注意

- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

火災などの原因になります



取付注意

- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すが、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと

火災などの原因になります

詳しくは、所轄の消防署にお問い合わせください

注意



使用禁止

- 浴室など湿気が多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください）

感電および故障の原因になります



取付禁止

- 周囲温度が 40℃以上になるところには取り付けないこと

火災・故障の原因になります

取り付けかた

■レンジフード側

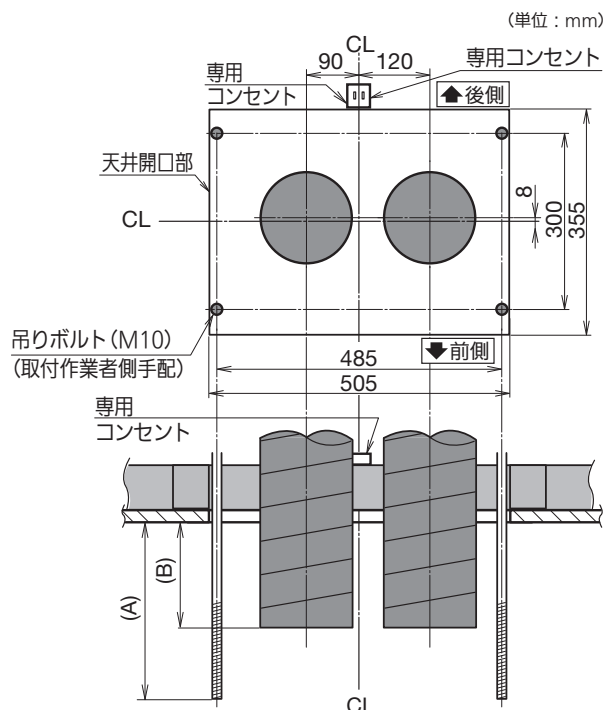
1 事前に管工事業者（法的有資格者）へ天井面へのダクト穴の開口を依頼してください。

また、天井開口部近くの補強桟または野縁等に専用コンセントを設置します。

2 φ 150 のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを右図のようにレンジフードの上部に突き出すようにセットして、周囲を仕上げます。

3 M10 の吊りボルト（取付作業側手配）を4本、天井内の梁などの頑健な部分に固定します。

固定ピッチは前後 300mm、左右 485mm です。



お願い

天井面からの吊りボルトの突き出し長さ (A) およびダクトの突き出し長さ (B) は、製品総高さ（範囲：600～760mm）により異なります。製品寸法図を参考にして、次式により算出してください。

吊りボルトの突き出し長さ (A) = 「製品総高さ」 - 440

ダクトの突き出し長さ (B) = 「製品総高さ」 - 500

製品総高さ	吊りボルトの突き出し長さ (A)	ダクトの突き出し長さ (B)
600	160 (+ 10) まで	100 (± 10)
680	240 (+ 10) まで	180 (± 10)
760	320 (+ 10) まで	260 (± 10)

※「製品総高さ」寸法は、「ダクトカバー（別売部品）」、「製品取付高さ」および「天井高さ」によって異なります。

■ワイドスパンユニット側

1 事前に大工工事業者へ、吊りボルトやワイヤー取付用の天井裏の野縁の加工、天井面への加工を依頼してください。

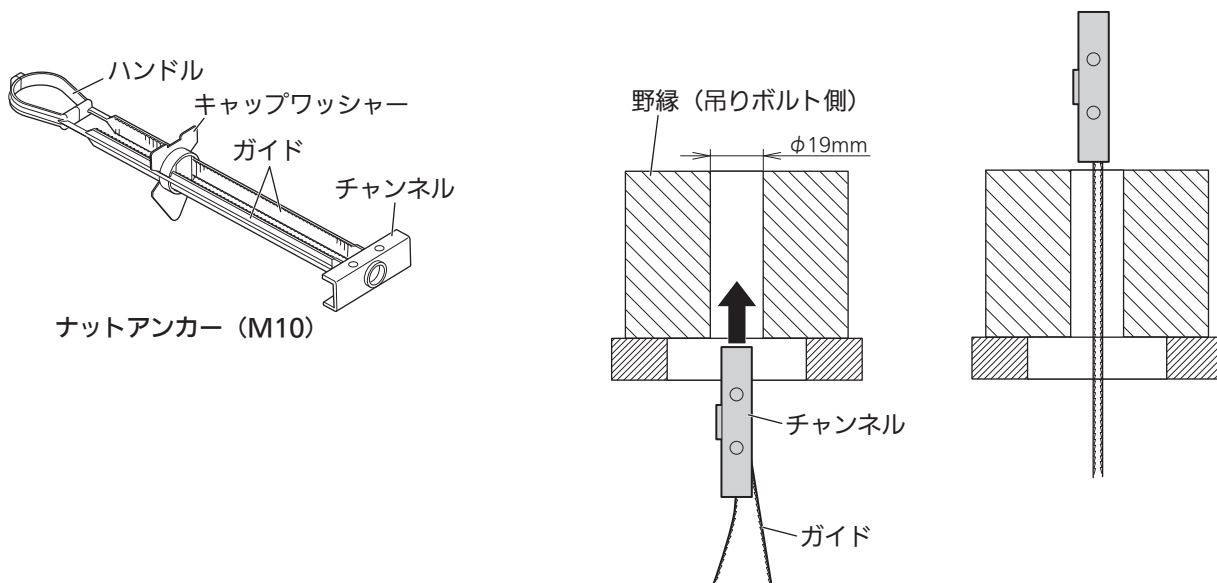
取り付けかた

次の手順2～6では、右表の付属品を使用しますので準備してください。

・ナットアンカー (M10)	2個
・特寸ワッシャー (外径φ22)	2枚
・スプリングワッシャー (M10)	2個
・高ナット (M10×25)	2個

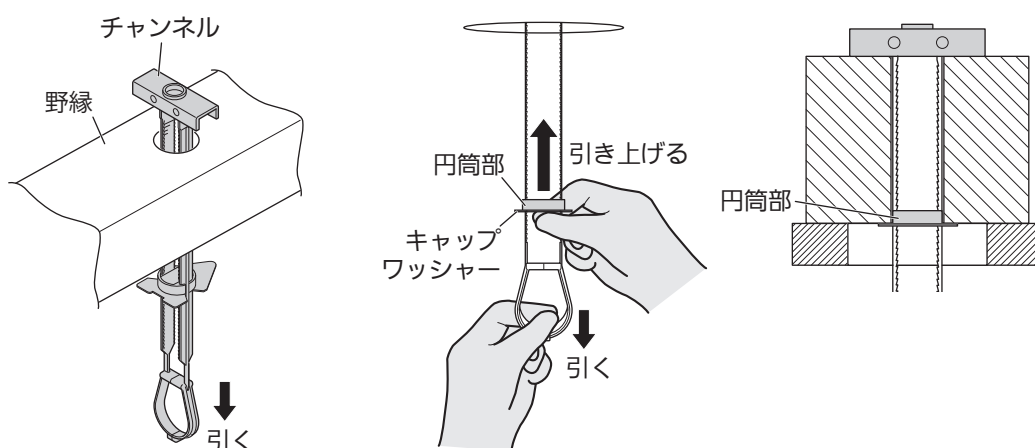
2 付属品のナットアンカー (M10) を吊りボルト側の野縁に取り付けます。

- 1) ナットアンカー (M10) のチャンネル部分をガイドに沿わせるように重ねた状態で持ち、そのまま野縁下側から吊りボルト取付用穴 (φ19mm) へチャンネル部分を差し込みます。

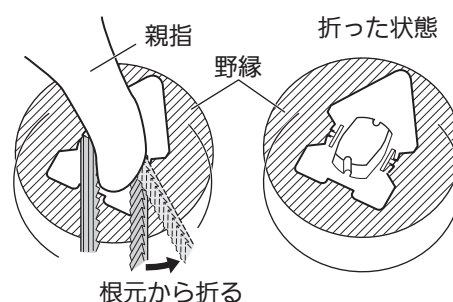


- 2) ナットアンカー (M10) を軽く引いてチャンネルが野縁に確実に引っ掛かったことを確認してから、キャップワッシャーを野縁に付くまで引き上げます。

※ キャップワッシャー円筒部を野縁の穴に入れ、がたつきがないようにしっかり野縁に押し付けてください。



- 3) 親指をガイドの間に入れ、ガイドを左右方向に数回折り曲げて、ガイドを根元から折ります。



取り付けかた

3 必要に応じて吊りボルトをカットします。

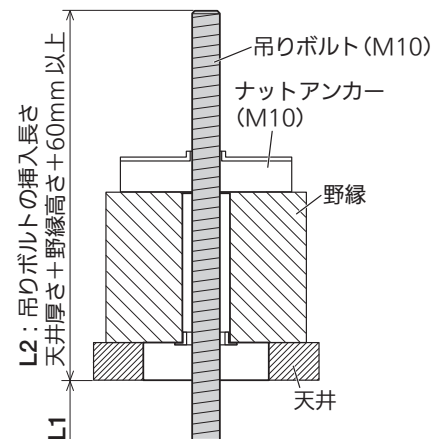
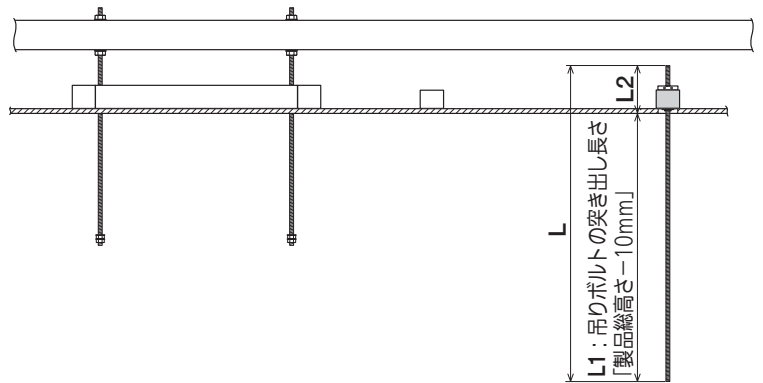
右図を参照し、次式により吊りボルト長さ (L) を算出して、必要に応じて吊りボルトをカットしてください。

$$L = L1 + L2$$

$$L1 = \text{製品総高さ} - 10\text{mm}$$

$$L2 = \text{天井厚さ} + \text{野縁高さ} + 60\text{mm 以上}$$

(L) : 吊りボルト長さ
 (L1) : 天井からの吊りボルトの突き出し長さ
 ※ 製品総高さが 760mm の場合、吊りボルト突き出し長さは 750mm となります。
 (L2) : 天井への吊りボルトの挿入長さ



4 吊りボルトを野縁に固定したナットアンカー (M10) に挿入します。

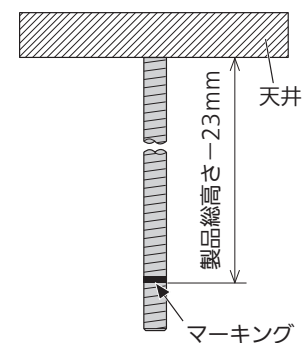
吊りボルトの突き出し長さ (L1) は、± 5mm の長さとなるようにしてください。

※ 吊りボルトが指定の長さになっていないと、部品どうしが干渉する場合がありますのでご注意ください。

5 ワイドスパンユニット用の吊りボルトに、指定のワイドスパンユニット引掛け位置をマーキングをします。

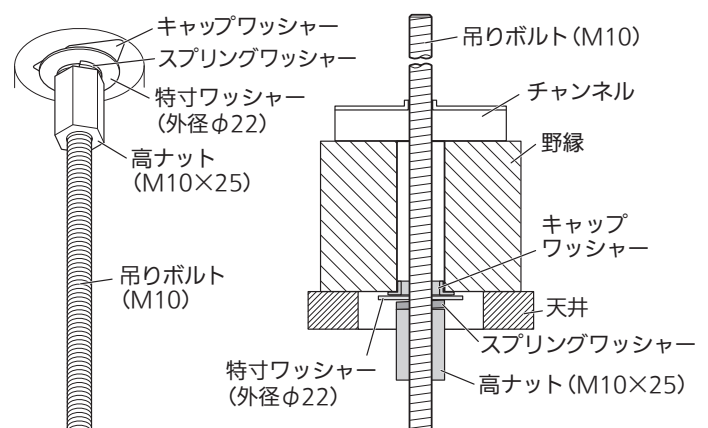
指定のワイドスパンユニット引掛け位置は、天井面から「製品総高さ - 23mm」です。

※ 製品総高さが 760mm の場合、天井面から 737mm の位置となります。



6 吊りボルトにワッシャー・ナット類を取り付けます。

ワイドスパンユニット用の吊りボルト 2 本に、付属品の特寸ワッシャー (外径φ 22)、スプリングワッシャー、高ナット (M10×25) の順でナットアンカー (M10) に通し、野縁に固定します。



取り付けかた

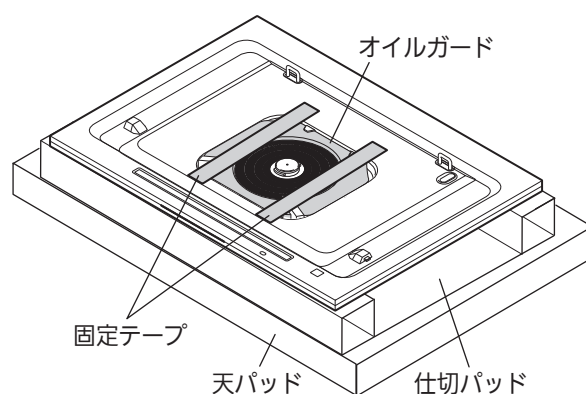
3. フード・本体の準備

お願い

- ・はずしたねじは取り付けの際に使用しますのでなくさないください。
- ・はずした部品は変形させないように、平らな場所に置いてください。また、はずした部品で床などにキズをつけないようご注意ください。
- ・金具の変形防止のため、下記手順1のように必ず天パッドの上に仕切パッドを載せ、その上にフードを置いて作業してください。

■ フードの準備

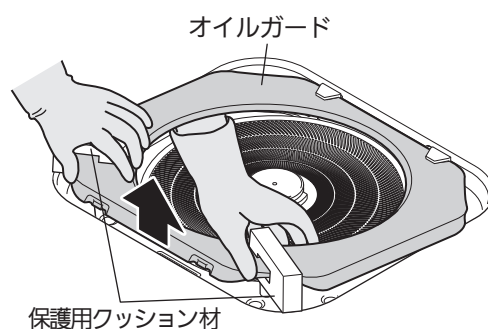
1 オイルガードの固定テープをはずします。



2 保護用クッション材をはずします。

オイルガードの手前側左右のすきまに指をかけ、オイルガードを矢印方向に持ち上げて、本体からはずし、保護用クッション材（2個）をはずします。

※ はずした保護用クッション材は廃棄してください。

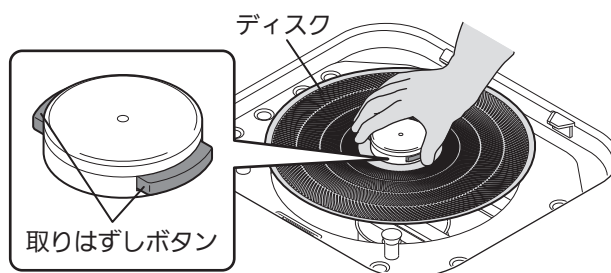


3 ディスクをはずします。

ディスクの中央にある取りはずしボタンを押しながら、そのまま上に引き上げます。

お願い

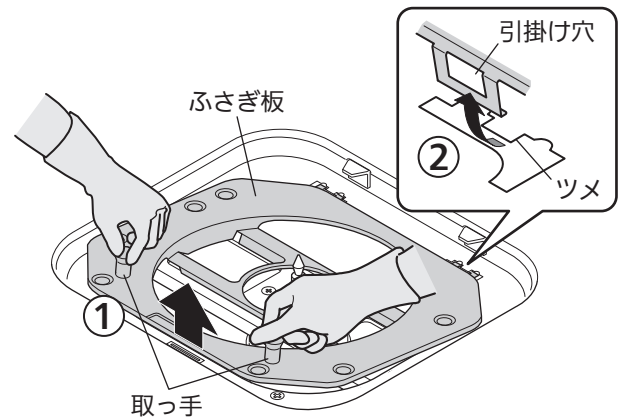
ディスクを落とししたりして変形させないでください。（異常な音や振動の原因になります。）



取り付けかた

4 ふさぎ板をはずします。

- 1) ふさぎ板の取っ手を両手で持ち、上にゆっくり引き上げます (①)。
- 2) ふさぎ板の引掛け穴をツメからはずします (②)。
※ 必ず左右同時にはずしてください。金具の変形の原因になります。



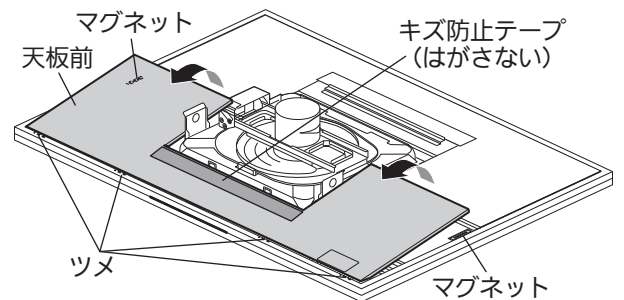
5 天板前・天板後をはずします。

※ 青色の保護フィルムの天板面だけをはがして天板の取りはずしをおこなってください。

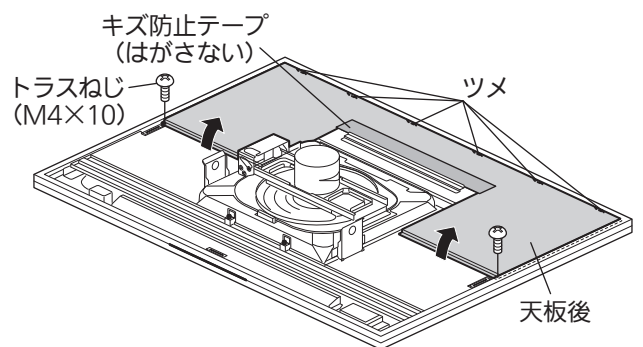
お願い

天板に貼ってあるキズ防止テープは取り付けが完了するまではがさないでください。

- 1) 天板前をななめに持ち上げ、ツメ4ヶ所をはずします。
※ 天板を変形させないようにご注意ください。



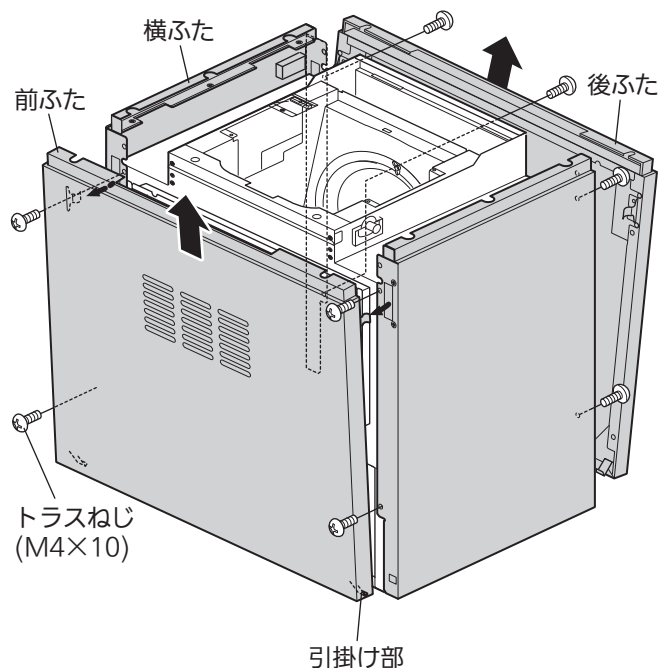
- 2) 天板後を固定しているトラスねじ (M4 × 10) 2本をはずし、ななめに持ち上げてツメ6ヶ所をはずします。
※ 天板を変形させないようにご注意ください。
※ 取りはずしたねじは「6. ワイドスパンユニットの取り付け」手順 16 (35 ページ) にて再度使用しますので、なくさないでください。



取り付けかた

■ 本体の準備

1 前ふた・後ふたをはずします。
前ふた・後ふたの上端を手前に引いてはずし、前ふた・後ふたを持ち上げて、下端の引掛け部を横ふたからはずします。

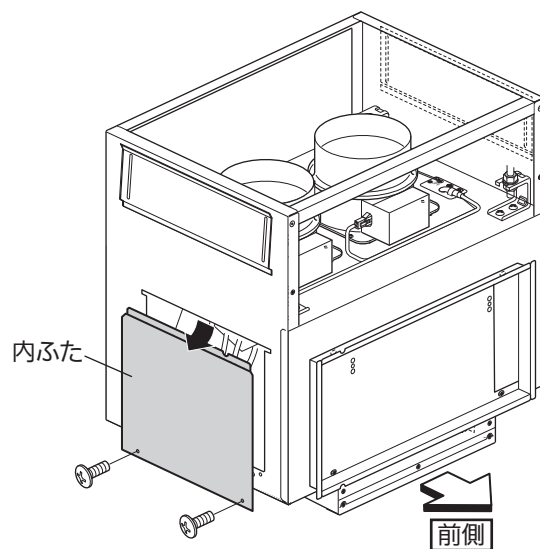


2 横ふたをはずします。
※ 両側ともはずしかたは同じです。

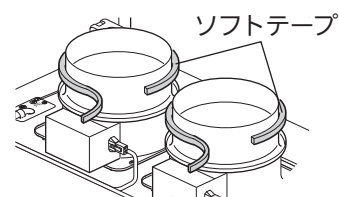
横ふたを固定しているトラスねじ (M4 × 10) 8本をはずし、横ふたをはずします。

※ 取りはずしたねじは「9. レンジフードの横ふた・前ふた・後ふたの取り付け」(38ページ)にて再度使用しますので、なくさないでください。

3 本体左側の内ふたをはずします。
内ふたを固定しているねじ2本をはずし、内ふたを手前におろすようにしてはずします。
※ 取りはずしたねじは「4. フード・本体の取り付け」手順9 (25ページ)にて再度使用しますので、なくさないでください。



4 ソフトテープを貼り付けます。
給気口・排気口に付属品のソフトテープを貼り付けます。



取り付けかた

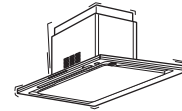
4. フード・本体の取り付け

注意



取付注意

- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実に起こすこと
落下によりけがをするおそれがあります



取付注意

- 部品の取り付けは確実に起こすこと
落下によりけがをするおそれがあります



1 レンジフードの固定位置を決めます。

- 1) 右図を参照し、次式によりマーカー位置(X)の値を算出してください。

$$X = \text{「天井高さ」} - (\text{「床から調理機器上面までの高さ」} + 800 + 460)$$

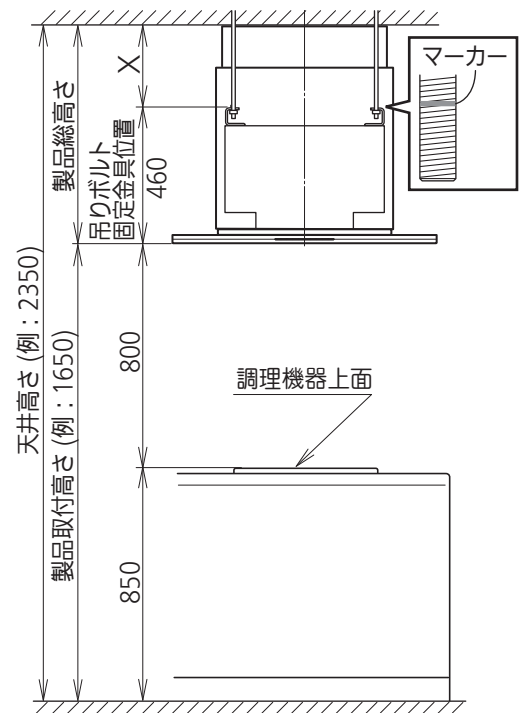
例：天井高さが 2350mm、床から調理機器上面までの高さが 850mm の場合

$$X = 2350 - (850 + 800 + 460)$$

天井からのマーカー位置(X)は 240mm となります。

- 2) 吊りボルトにマジックペンなどで、天井から X の値の位置にマーカーをつけます。

(単位：mm)

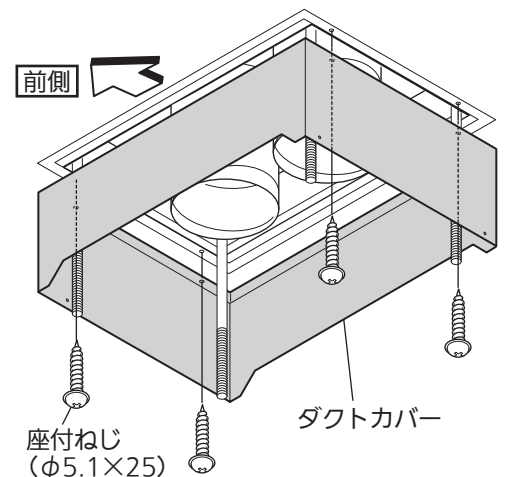


2 ダクトカバー（別売部品）を取り付けます。

ダクトカバー付属品の座付ねじ（φ 5.1 × 25）4 本でダクトカバーを天井面に固定します。

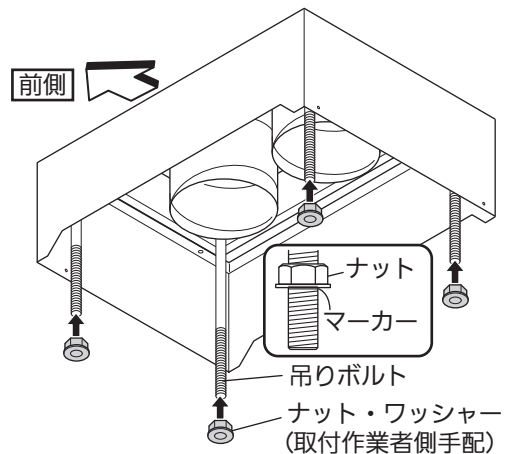
お願い

切り欠きのある面をレンジフードの前後方向にしてください。
向きを間違えると本体との固定ができなくなります。



取り付けかた

- 3** 吊りボルトにナットを取り付けます。
M10 のナットおよびワッシャー（取付作業側手配）を吊りボルトのマーカ位置まで差し込みます。

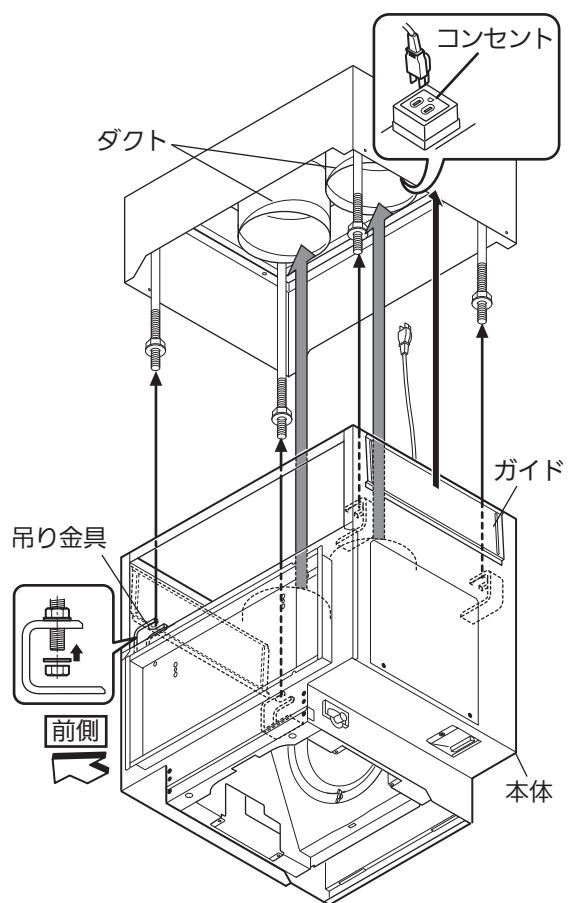


- 4** 本体を吊りボルトに固定します。
- 1) 取り付けダクトカバーに本体両脇のガイドを差し込みながら本体を持ち上げ、4ヶ所の吊り金具に吊りボルトを差し込み、吊り金具を挟み込むように吊りボルト下側から M10 のワッシャーおよびナット（取付作業側手配）でしっかりと締め付けます。

お願い

給気用ダクトに給気口を、排気用ダクトに排気口を差し込みながら本体を取り付けてください。

- 2) 「7. 電気配線」（36 ページ）を一読してから、電源プラグを天井裏などのコンセントに差し込みます。
※ 必ず分電盤のブレーカーを「切」にしてからおこなってください。

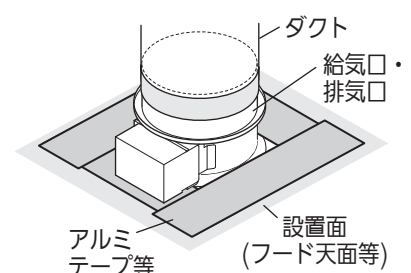
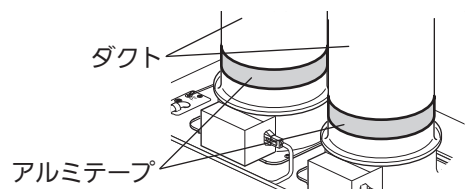


- 5** 風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）をおこないます。

給気口・排気口設置面の漏風確認のお願い

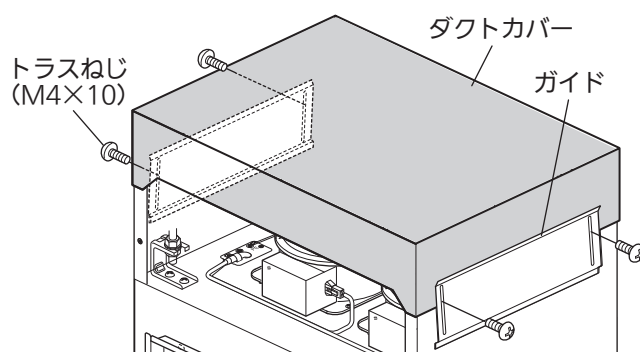
給気口・排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとする、設置面（製品天面等）が変形し、風漏れが発生してしまう場合があります。

風漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転（強運転）をおこなってください。漏風する場合は、給気口・排気口と設置面の周りをアルミテープ等（現場調達品）で漏風防止処置をおこなってください。



取り付けかた

- 6** ダクトカバーと本体を固定します。
ダクトカバー付属品のトラスねじ (M4 × 10) 4本で左右各2ヶ所をガイドの長穴に固定します。



- 7** フードを取り付けます。
- 1) フードを持ち上げた状態で、フードから出ているモーターの配線を本体下部から通し、本体左側に引き出します (**1**)。
 - 2) フード後側の引掛け線を本体後側に引っ掛け、フードを左に寄せます (**2**)。

お願い

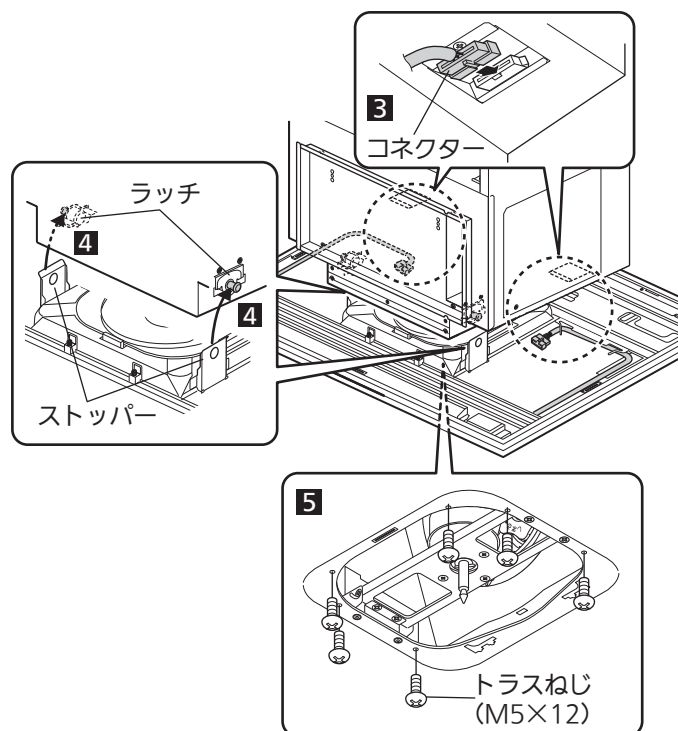
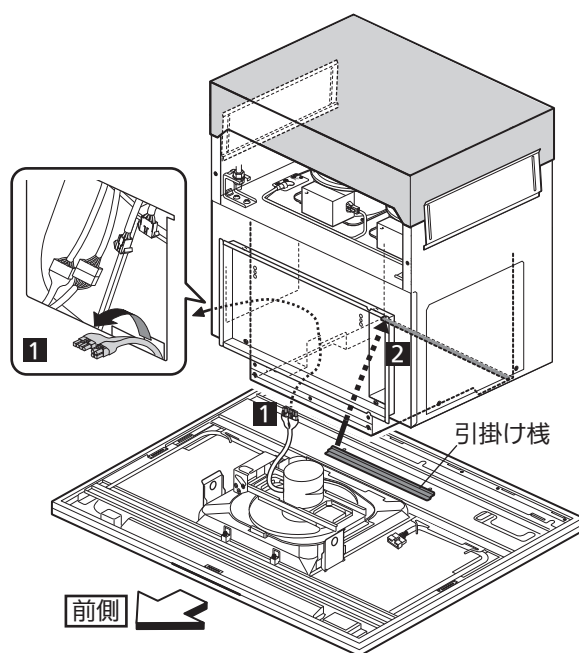
配線を挟まないようご注意ください。

- 3) フードの左右から出ている電気配線のコネクタをそれぞれ本体の下側左右にあるコネクタに接続します (**3**)。
- 4) フード前側を持ち上げ、ストッパーが本体のラッチに「カチッ」とロックされるまで持ち上げます (**4**)。

お願い

ストッパーとラッチが確実に引っ掛かったことを確認してください。ロックが不完全なまま作業を続けると、フード部が落下するおそれがあります。

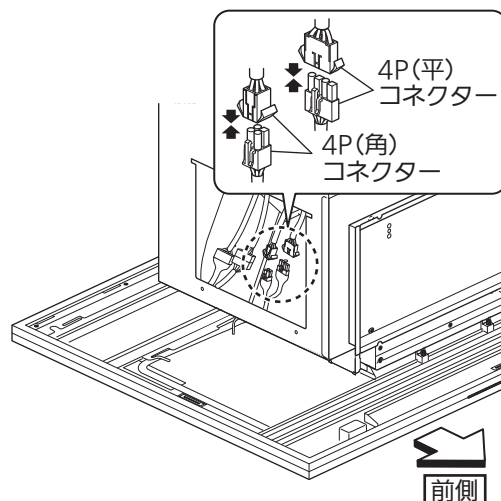
- 5) 付属品のトラスねじ (M5 × 12) 6本でフード下側から右図の各位置を固定します (**5**)。



取り付けかた

8 コネクターを接続します。

フード左側から出ている電気配線のコネクターを本体のコネクターに接続し、本体内側の 4P コネクター（平）と 4P コネクター（角）を本体の 4P コネクター（平）と 4P コネクター（角）にそれぞれ接続します。



お願い

コネクターを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。接続が不十分な場合、レンジフードが動作しない、発熱による故障などの原因になります。



9 本体横の内ふたを取り付けます。

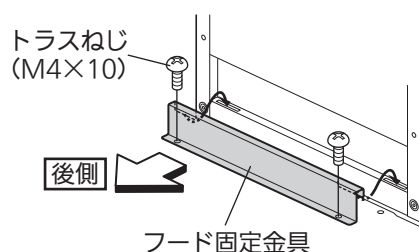
「3. フード・本体の準備」 ■本体の準備、手順 3（21 ページ）で取りはずしたときと逆の手順で取り付けます。

10 天板前・天板後を取り付けます。

「3. フード・本体の準備」 ■フードの準備、手順 5（20 ページ）で取りはずしたときと逆の手順で取り付けます。

11 フード固定金具を取り付けます。

本体背面に付属品のフード固定金具を引っ掛け、トラスねじ（M4 × 10）2 本で固定します。



取り付けかた

12 ふさぎ板、ディスク、オイルガードを取り付けます。

「3.フード・本体の準備」■フードの準備、手順2～4（19～20ページ）で取りはずしたときと逆の手順で取り付けます。

※ はずした保護用クッション材は取り付けずに廃棄してください。

13 整流板を取り付けます。

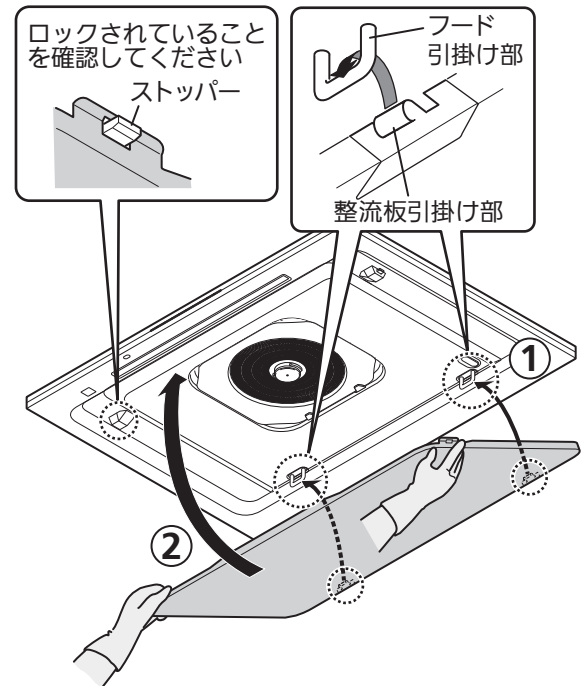
1) 奥側左右の整流板引掛け部をフード引掛け部に確実に引っ掛けます（①）。

2) 整流板を両手で支えながら手前側を上を持ち上げ、左右のストッパーを押しながらロックします（②）。

取り付け後は整流板を上下に動かし、はずれないことを確認してください。

お願い

- 整流板の固定は、確実にこなってください。ロックが不十分ですと落下の原因になります。



取り付けかた

5. ワイドスパンユニットの準備

お願い

- ・キズ防止のため、以下の作業は梱包材に載せたままの状態でおこなってください。
- ・はずしたねじは取り付けの際に使用しますのでなくさないでください。
- ・はずした部品は変形させないように、平らな場所に置いてください。また、はずした部品で床などにキズをつけないようご注意ください。

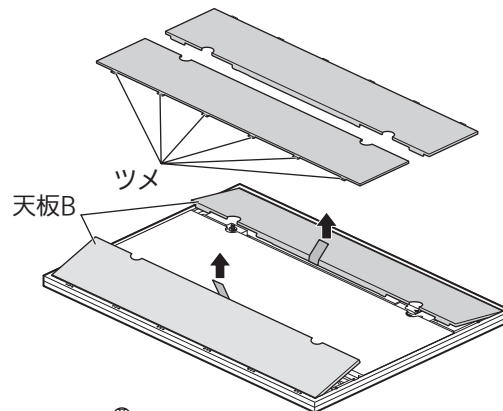
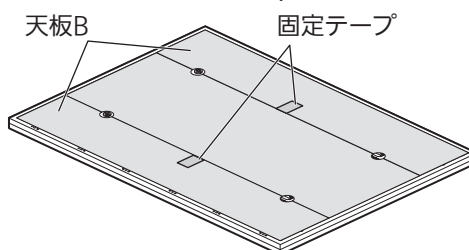
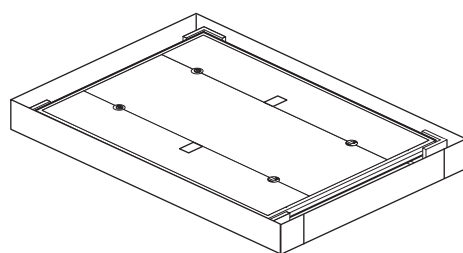
1 天板 B をはずします。

※ 青色の保護フィルムの天板面だけをはがして天板の取りはずしをおこなってください。

ワイドスパンユニットの固定テープを引き、天板 B を斜めに持ち上げてツメ 6 ヶ所をはずします。

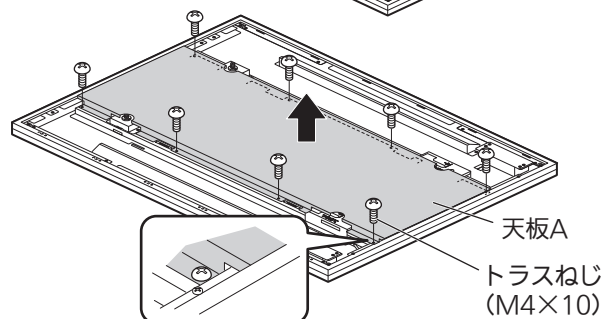
お願い

天板 B を変形させないようにご注意ください。



2 天板 A をはずします。

天板 A を固定しているトラスねじ (M 4 × 10) 8 本をはずし、天板 A をはずします。



3 ステンレスパイプを指定の長さにカットします。

付属品のステンレスパイプ (2 本) をパイプカッターなどの工具で、製品総長さ - 100 ± 5mm にカットしてください。

※ 製品総高さが 760mm の場合、パイプ長さは 660mm となります。

※ ステンレスパイプのカットは現場にて実施してください。

※ 青色の保護フィルムをはがさずにカットしてください。

取り付けかた

6. ワイドスパンユニットの取り付け

⚠ 注意



取付注意

- ワイドスパンユニットの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実にこなうこと

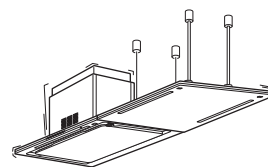
落下によりけがをするおそれがあります



取付注意

- 部品の取り付けは確実にこなうこと

落下によりけがをするおそれがあります



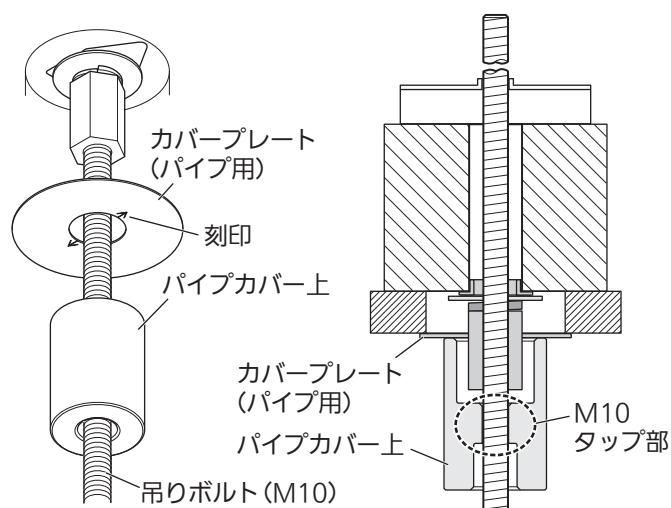
次の手順1～4では、右表の付属品を使用しますので準備してください。

・カバープレート（パイプ用）	2枚
・パイプカバー上	2個
・ステンレスパイプ	2本
・パイプカバー下	2個
・ストッパー（切り離れた外側を使用）	2個
・フランジ付きナット（M10）	6個

1 吊りボルトにパイプカバー上、カバープレートを取り付けます。

- 1) ワイドスパンユニット用の吊りボルト2本に、付属品のカバープレート（パイプ用）、パイプカバー上（M10、タップあり）の順に通します。

- 2) パイプカバー上を回して、天井面に固定します。



お願い

- ・カバープレート（パイプ用）の保護フィルム（半透明）をはがして取り付けてください。
- ・カバープレート（パイプ用）には目の方向が刻印されています。刻印の方向をワイドスパンユニットの長手方向に合わせて取り付けてください。また、刻印の面がおもてになるように取り付けてください。
- ・パイプカバー上は締めすぎないようにご注意ください。クロスよじれや、天井面の破損の原因になります。

取り付けかた

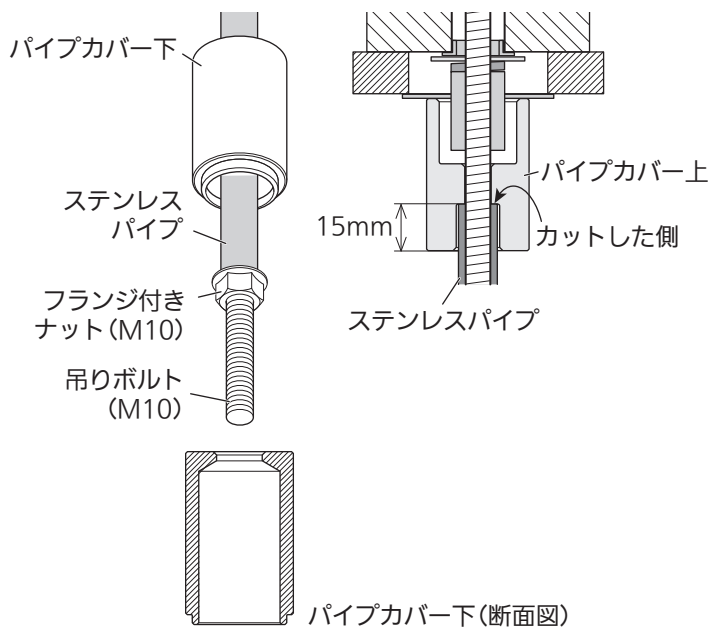
2 ステンレスパイプをワイドスパンユニット用の吊りボルトに通します。

1) 「5. ワイドスパンユニットの準備」手順 3 (27 ページ) にて指定の長さにカットしたステンレスパイプ (2 本) を、手順 1 で取り付けたパイプカバー上の穴の奥まで突き当てます。

※ ステンレスパイプは、カットした側が天井側となるように通してください。

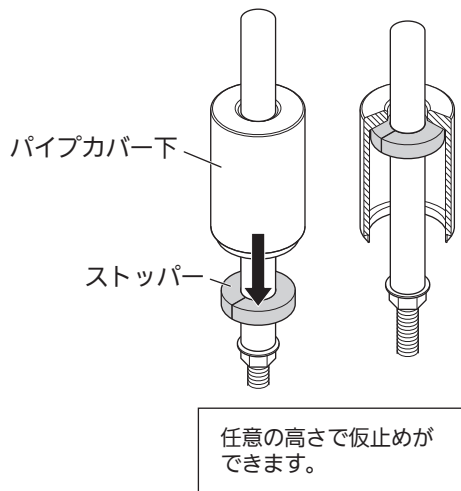
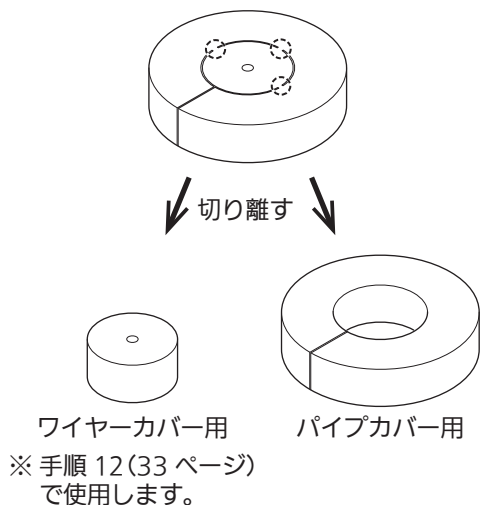
※ 青色の保護フィルムは、必要に応じて先端部分をはがして取り付けてください。

2) 付属品のパイプカバー下を通し、付属品のフランジ付きナット (M10) で固定します。



3 ストッパー (ゴム) を切れ込みで切り離し、パイプカバー下用とワイヤー下用に分離します。

※ ストッパーは右下図のように取り付けて、取付作業中にパイプカバー下、ワイヤーカバー下を作業しやすい任意の高さで仮止めするための部品です。

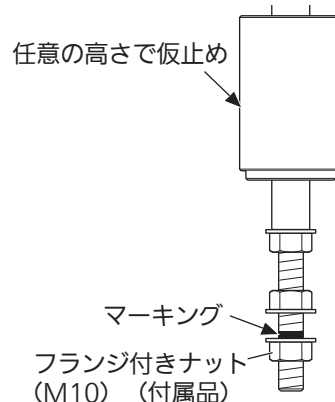


4 ワイドスパンユニット取付用の吊りボルトに、ナットを取り付けます。

※ 作業時は、パイプカバー下を作業しやすい任意の高さに引き上げ、右上図のようにストッパー (パイプカバー用) で仮止めしてください。

付属品のフランジ付きナット (M10) を各 2 個、吊りボルトに取り付けます。

上側のナットは任意の位置、下側のナットはマーキング位置に合わせて取り付けます。



お願い

ワイドスパンユニット取り付け用のナットに付属品以外のナットを使用すると、部品どうしが干渉する場合がありますのでご注意ください。

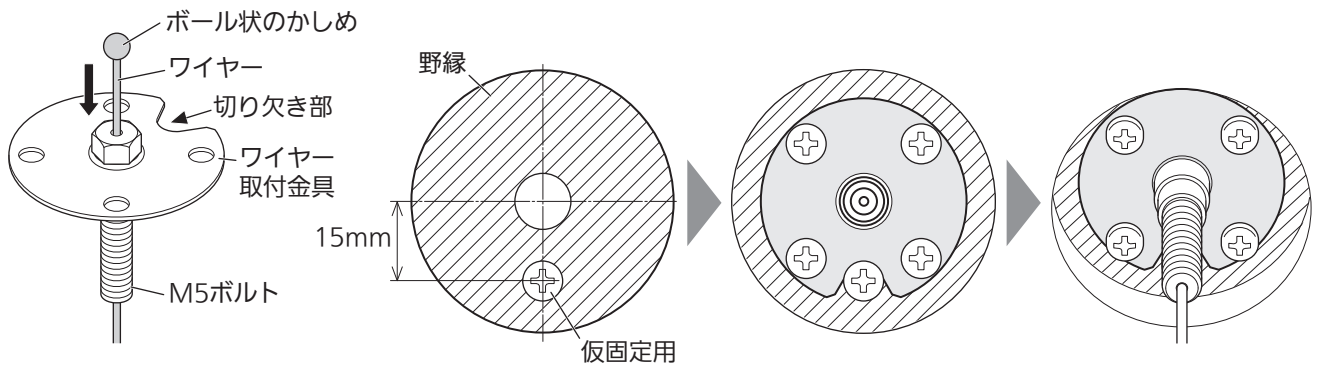
取り付けかた

次の手順5～7では、右表の付属品を使用しますので準備してください。

・ワイヤー取付金具	2個
・木ねじ (φ 4.1 × 32)	10本
・カバープレート (ワイヤー用)	2枚
・ワイヤーカバー上	2個
・ワイヤー	2本

5 ワイドスパンユニット固定用のワイヤーを天井に取り付けます。

- 1) 付属品のワイヤー取付金具の M5 ボルト穴に、付属品のワイヤーを通します。
※ ワイヤーはボール状のかしめ部側を上にして通してください。
- 2) 下図の指示寸法位置に、付属品の木ねじ (φ 4.1 × 32) 1本を野縁に取り付けます (仮固定用)。
※ ワイヤー取付金具の仮固定用のため、最後まで締め付けないようにしてください。
- 3) ワイヤー取付金具の切り欠き部を 2) で取り付けた木ねじに引っ掛け、木ねじ (仮固定用) をしっかりと締め付けます。
- 4) 残りの穴 4ヶ所に、付属品の木ねじ (φ 4.1 × 32) 4本を締め付けます。

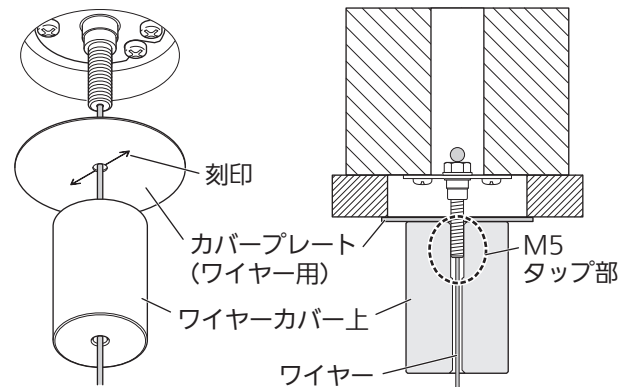


6 カバープレート、ワイヤーカバー上を取り付けます。

手順5で取り付けしたワイヤー取付金具のワイヤーに、付属品のカバープレート (ワイヤー用)、ワイヤーカバー上 (M5、タップあり) の順に通し、天井面に固定します。

お願い

- ・カバープレート (ワイヤー用) の保護フィルム (半透明) をはがして取り付けてください。
- ・カバープレート (ワイヤー用) には目の方向が刻印されています。刻印の方向をワイドスパンユニットの長手方向に合わせて取り付けてください。また、刻印の面がおもてになるように取り付けてください。
- ・ワイヤーカバー上を締めすぎないようにご注意ください。クロスよじれや、天井面の破損の原因になります。



取り付けかた

7 フード部のキズ防止のため、ワイヤー下側の先端にテープ等を貼り付けて保護します。

次の手順 8～12 では、右表の付属品を使用しますので準備してください。

・六角穴付きボルト (M5 × 25)	4 本
・スパナ	1 個
・ストッパー (切り離れた内側を使用)	2 個
・パイプカバー下	2 個

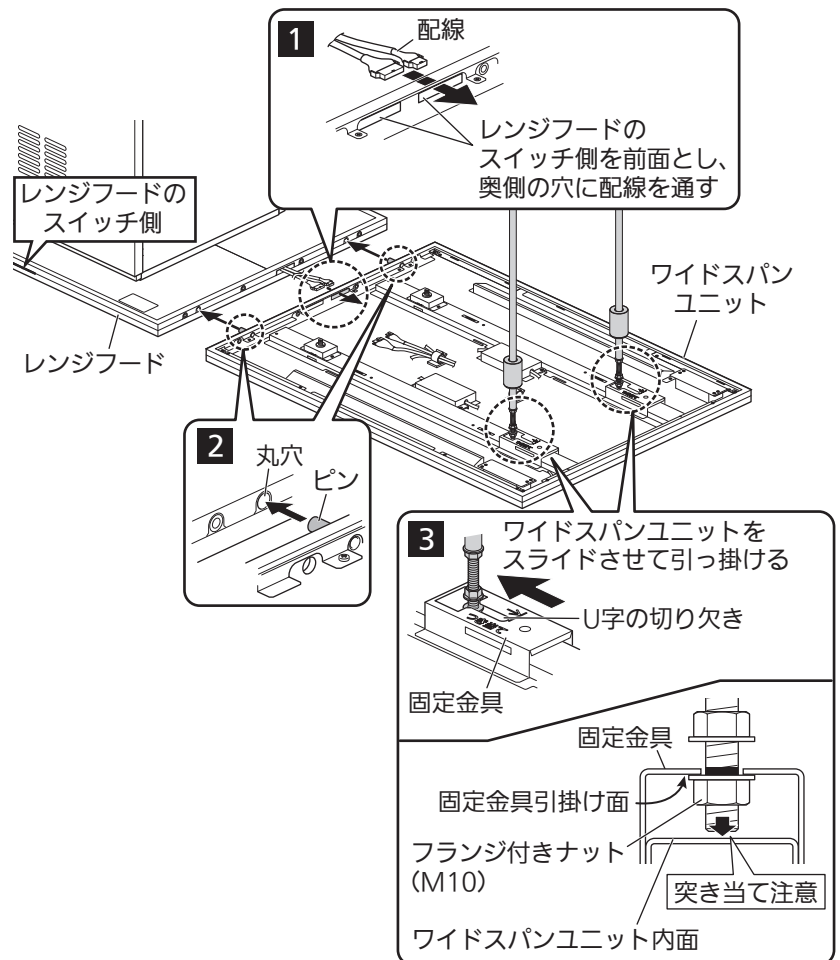
8 ワイドスパンユニットを水平方向にスライドさせて取り付けます。

取り付けの際、以下の作業を同時におこないます。

- レンジフード側から出ている電気配線 2 本をワイドスパンユニットの角穴に通す (1)。
- ワイドスパンユニット側面のピン 2ヶ所をレンジフードの丸穴に挿入する (2)。
- 吊りボルトを固定金具の U 字の切り欠き穴に通し、下側のフランジ付きナット (M10) を引っ掛ける (3)。

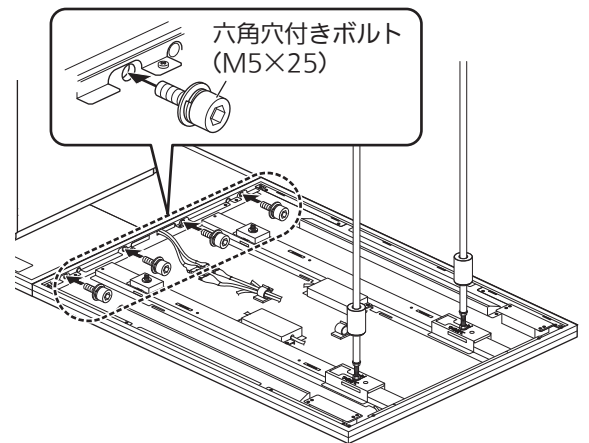
お願い

- ・取り付けの際、吊りボルトをワイドスパンユニット内面に突き当てないように気を付けてください。打痕の原因となります。
- ・ワイドスパンユニットの取り付けに際しては、次の手順 9、10 でしっかりと固定できるまで、ワイドスパンユニットを落下させないように十分注意して作業してください。



取り付けかた

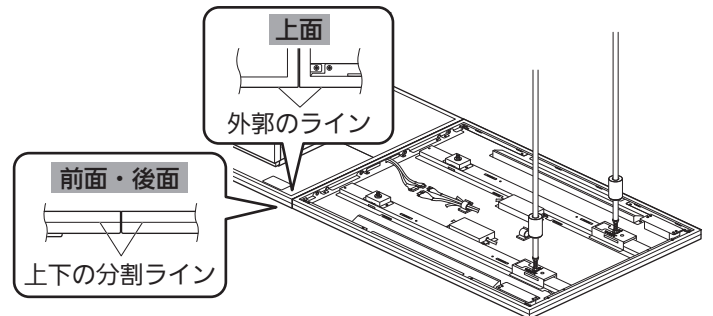
- 9 付属品の六角穴付きボルト (M5 × 25) 4 本でワイドスパンユニットとレンジフードを固定します。



お願い

六角穴付きボルト (M5 × 25) の固定の際は、右図に示すワイドスパンユニットとレンジフードの各ラインを合わせてください。

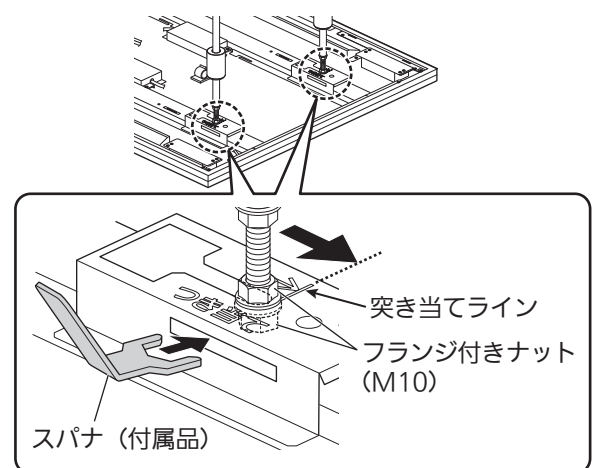
(締結面の丸穴とピン (前ページ手順 8 の 2 参照) には、本調整のため、あえて“あそび”を設けています。)



- 10 吊りボルトを固定金具の U 字の切り欠き穴の奥まで突き当て、固定します。

下側のフランジ付きナット (M10) は付属のスパナ、上側のフランジ付きナット (M10) は取付作業側手配のスパナ等を使用し、それぞれのナットをしっかりと締め付けます。

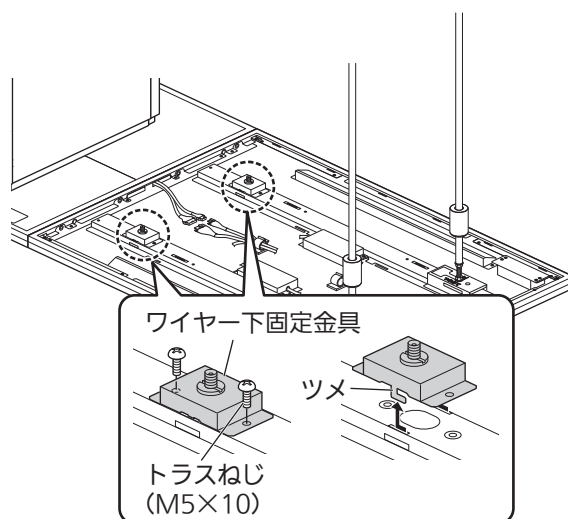
※ 吊りボルトを、固定金具表面に刻印されている突き当てラインまでしっかりと突き当てて締め付けてください。



取り付けかた

11 ワイヤー下固定金具を固定しているねじ（トラスねじ M5 × 10）各 2 本をはずし、ワイヤー下固定金具 2 個を取りはずします。

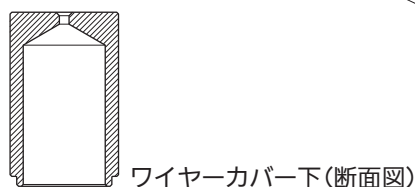
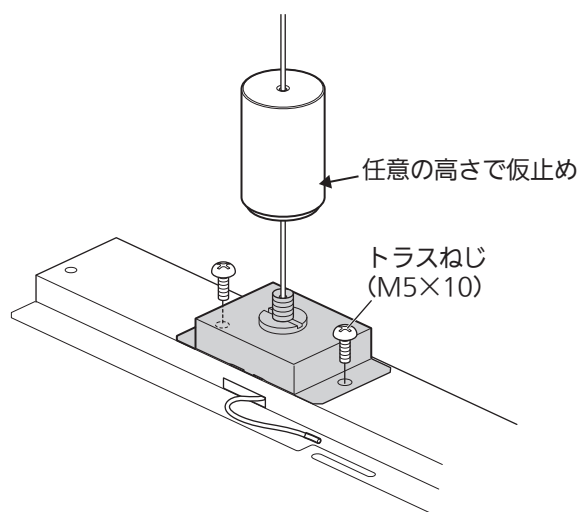
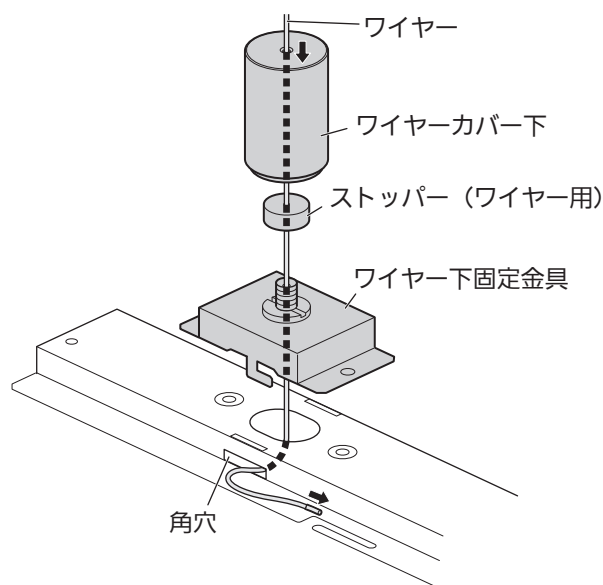
※ ワイヤー下固定金具はツメで引っ掛かっていますので、横方向にスライドさせて取りはずしてください。



12 手順 7（31 ページ）でキズ防止のために貼り付けた保護テープ等をはがします。

※ 作業時は、ワイヤーカバー下を作業しやすい任意の高さに引き上げ、手順 3（29 ページ）で切り離れたストッパー（ワイヤー用）で仮止めしてください。

- 1) 天井から垂れているワイヤーに、付属品のワイヤーカバー下、ストッパー（ワイヤー用）、ワイヤー下固定金具の順に通します。
- 2) ワイドスパンユニットの補強枠の角穴にワイヤーを通し、ワイヤー下固定金具を手順 11 ではずしたねじ（トラスねじ M5 × 10）各 2 本でワイドスパンユニットに取り付けます。



取り付けかた

13 水準器等でワイドスパンユニットの水平を確認しながら、ワイヤーの長さを調整します。

ワイヤー側の高さを高くしたい場合

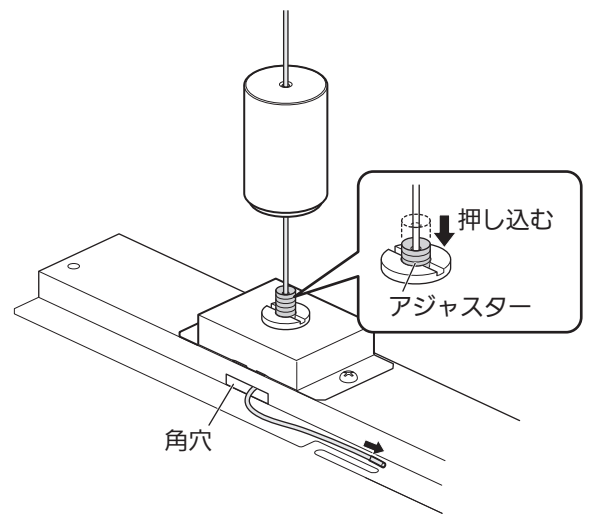
ワイヤー下取付金具の角穴からワイヤーを引っ張ります。

ワイヤー側の高さを低くしたい場合

アジャスター上部を押し込みながら、ワイヤーを上側に引っ張り上げます。

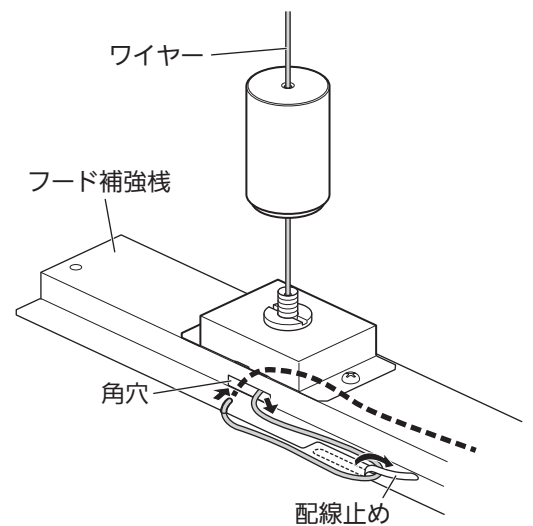
※ 吊りボルト側の高さを調整したい場合は、手順 10 (32 ページ) の作業でナットの高さ調整をおこなってください。

※ ワイドスパンユニットの質量を各吊りボルトとワイヤーでしっかり支えるために、ワイヤーはしっかり張った状態としてください。



14 余ったワイヤーをフード補強栈の配線止めに引っ掛け、配線止めを反対側へ曲げて固定します。

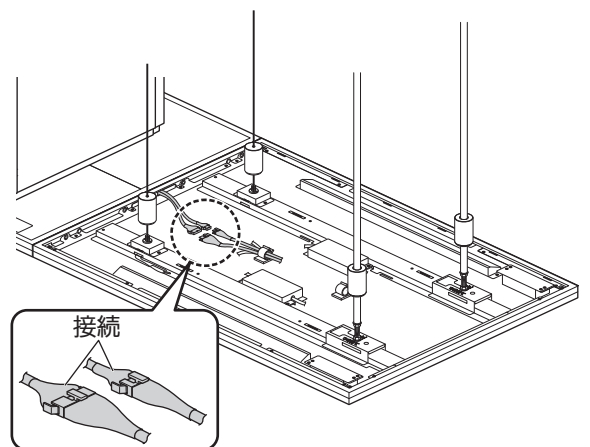
残りのワイヤーはフード補強栈の角穴に入れてください。



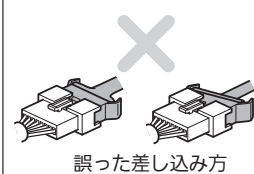
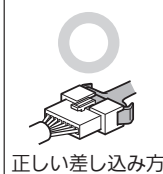
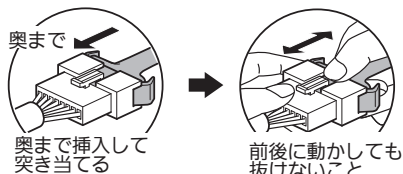
15 レンジフード側から出ている電気配線のコネクターをワイドスパンユニットの電気配線のコネクターに接続します。

お願い

コネクターを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。接続が不十分な場合、レンジフードが動作しない、発熱による故障などの原因になります。



コネクターを挿入する場合

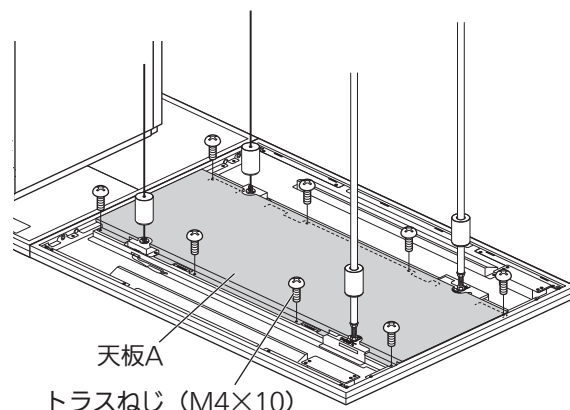


取り付けかた

16 27 ページの手順 2 で取りはずしたトラスねじ(M4×10)8本で天板 A を取り付けます。

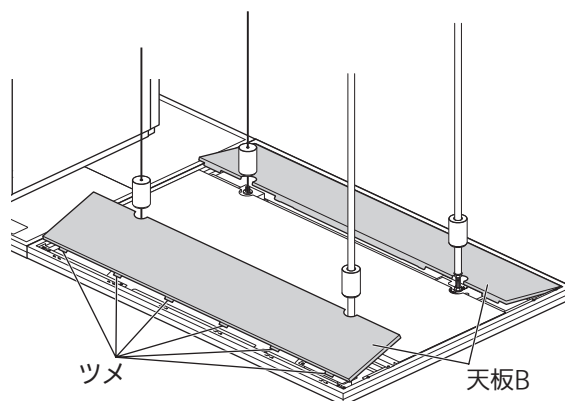
お願い

天板 A の端面でステンレスパイプやフードにキズをつけないようご注意ください。



17 27 ページの手順 1 で取りはずした天板 B を取り付けます。

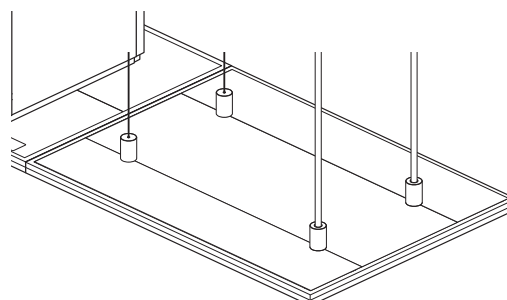
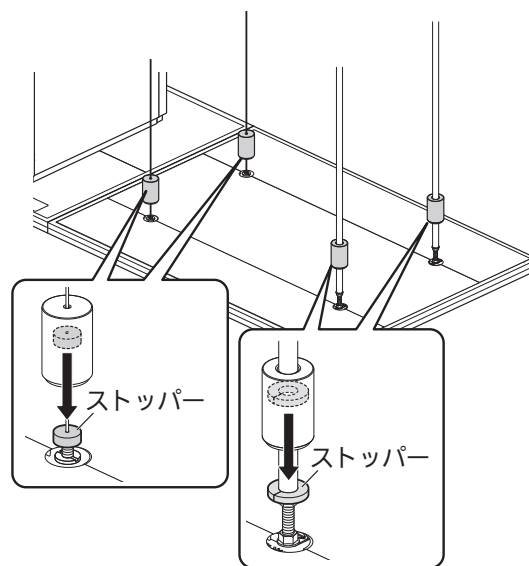
※ 水色の固定テープをはがして取り付けください。



18 パイプカバー下とワイヤーカバー下を仮止めているストッパーを下まで下ろし、さらにそのまま下ろして天板 A、B の切り欠き部にはめこみます。

※ストッパーはアフターサービスでの作業性を考慮し、取り付けたままにしてください。

※パイプカバー下とワイヤーカバー下は、上下および回転方向が固定されない仕様としています。



取り付けかた

7. 電気配線

警告



分解・修理・
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと

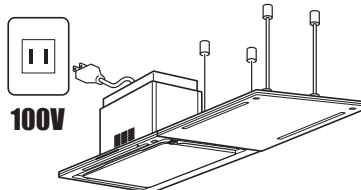
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



使用禁止

- 交流 100 V 以外では使用しないこと

火災・感電の原因になります



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

誤った配線工事は感電や火災の原因になります



アースを
取り付ける

- アースを確実に取り付けること

故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください

■ 「4. フード・本体の取り付け」手順 4 (23 ページ) で以下の作業をおこないます。


分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。


お願い

- ・ 電源は専用のコンセント (2 極接地極付差込接続器 15A、125V) およびブレーカーを設けてください。
- ・ 「8. 試運転」(次ページ) までブレーカーは「入」にしないでください。
- ・ コンセントは電源コードの長さを考慮し、設置してください。
- ・ 必ずアース (D 種接地工事) をしてください。
- ・ レンジフードの配線工事の際、壁スイッチを設置しないでください。

取り付けかた

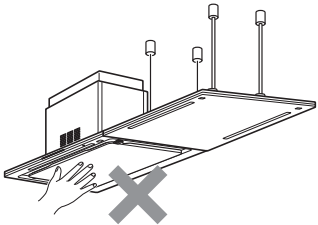
8. 試運転

**注意**



接触禁止

● 運転中は指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります



- 分電盤のブレーカーを「入」にし、レンジフードのスイッチとワイドスパンユニットの照明スイッチを操作して運転状態を確認してください。
スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 必ず最終設置した状態で試運転してください。
- 整流板やディスクが正しく取り付けられていることを確認してください。
整流板が正しく取り付けられていないと、運転停止機能により運転ができません。
ディスクを取り付けていなかったり、取り付けが不完全な状態で運転すると、ディスク付け忘れお知らせ機能により、付け忘れをお知らせします。
整流板とディスクの取り付けについては取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各速調の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
- 異音、振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気出口から排気され、異音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。
- 製品保護のため、はがした青色の保護フィルムをもとの状態に貼ってください。
- 風量おまかせ運転（風量自動切替）機能を正しくお使いいただくために、別紙に記載の方法で必ず環境設定をおこなってください。

取り付けかた

9. レンジフードの横ふた・前ふた・後ふたの取り付け

- 横ふたは左右同一品です。また、前ふた・後ふたも同一品となります。
- 横ふたを先に取り付けてください。
- 取り付けかたは「3. フード・本体の準備」■本体の準備（21 ページ）の取りはずしかたを参考にしてください。

お願い

- ・ 取り付ける際は、天板面にキズをつけないように注意して取り付けてください。
- ・ 横ふた・前ふた・後ふたの取り付けが終わったら、フード天板に貼ってあるキズ防止テープをはがしてください（20 ページ参照）。

10. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。



